

3 令和3年度(2021年度)生涯学習関連事業評価一覧

【基本施策1 番号1～49、48事業】

番号	新規	種類	分野	基本施策・施策の展開		事業名	事業内容	令和3年度 実績					令和3年度の目標および評価				令和4年度 目標設定			令和3年度 予算(千円)	令和3年度 決算(千円)	令和4年度 予算(千円)	令和4年度 担当課(実施主体)		
				NO	施策名			対象者	回数	参加者数(人)等	実施形態	のコロナ	実施方法	令和3年度の実施状況 昨年度との比較・変更点 具体的に(120字以内)	指標	令和3年度目標値	目標値に対する実績値	評価	令和4年度目標値					方向性	令和4年度の課題と方向 (120字程度)
1		講座・教室	教養的なもの	001	子どもたちが体験できる機会の充実	自然体験・自然観察会	本市の特長でもある豊かな自然を活かし、市民を対象とした自然観察会を行う。	どなたでも	3	57名 (ホタル:23名、秋:15名、 星空:19名)	共催	変更して実施	対面実施	予定していた全4回のうち、3回は人数を制限・規模を縮小し実施をしたが、2月実施予定の1回はまん延防止等重点措置の延長を受け、新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点及び参加者の安全のため、中止とした。	利参加者数等・利用者数	50名	57名 (ホタル:23名、秋:15名、 星空:19名)	A	65名	取組の継続	今後も引き続き感染症対策を実施しながら、市民に身近な自然と触れ合う機会を提供する。	31	15	30	学習支援課
2		講座・教室	趣味的なもの	001	子どもたちが体験できる機会の充実	出張体験講座	市内小学校に講師を派遣して、子どもたちに多様な体験型講座を実施する。	子ども	5	252人	委託	変更して実施	対面実施	昨年度は新型コロナウイルス感染症拡大の影響により全面中止としたが、令和3年度は感染対策を行いながら、できる範囲で実施した。	実事業・業の大構築・充	6校	5校 (ほかに新型コロナウイルス感染症の影響により1校未実施)	A	20校 (より多くの子どもたちが、多様な体験を行える機会を充実させる。)	取組の継続	子どもたちが健やかに育ち、豊かな人生を歩むための基礎づくりを行うことを目的とし、地域のニーズを踏まえ、スポーツや文化芸術などを子どもが体験できる機会を提供する本講座の実施校を拡充する。	626	420	6,866	放課後児童支援課 (NPO法人八王子生涯学習コーディネーター会)
3		講座・教室	育児・教育	001	子どもたちが体験できる機会の充実	赤ちゃんふれあい事業	市内の中学校と地域の関連機関が連携して、中学生が乳幼児や妊婦とふれあう機会を提供し、命の大切さを再認識するとともに、自尊感情を育む。	子ども	35	35校	委託	変更して実施	どちらにも実施	助産師会によるいのちの講義と、妊婦ジャケット等を使用した体験、妊婦や乳幼児親子と直接ふれあう体験を実施していたが、新型コロナウイルス感染症の拡大防止のため、実会場での妊婦や乳幼児親子の参加は見合わせた。代替内容として、令和3年度3月実施校からは、オンラインを活用した妊婦や乳幼児親子との交流を実施した。	事業の再構築・充実・拡大等	すべての公立中学校(38校)での実施	公立中学校35校	B	すべての公立中学校(38校)での実施	取組の継続	令和4年度からはオンラインを活用した妊婦・乳幼児親子とのふれあい交流を本格実施し、すべての公立中学校で事業を実施する。	3,248	2,406	3,273	子どものしあわせ課 (八南助産師会)
4		イベント等	趣味的なもの	001	子どもたちが体験できる機会の充実	子ども体験塾「トイ・トイ オーケストラ！」	オーケストラを実際に鑑賞する機会の少ない子どもたちに、迫力ある生の演奏を体感する機会を提供し、音楽への興味と豊かな感性を育む。	親子・保護者	1	710人	実行委員会	変更して実施	対面実施	感染症対策を講じながらも内容・方法を工夫し、体験機会の提供を減らすことなく実施。以前は入場者数及びチケット収入の確保には課題があったが、今回からタイトルや内容をリニューアルした企画になったことで、応募総数が通常の定員を上回った。	参加者の満足度	アンケートで5段階評価を行い、「大変良かった」または「良かった」の合計割合は89.0%であった	A	アンケートで5段階評価を行い、「大変良かった」または「良かった」の合計割合を、80%以上	取組の継続	オーケストラとの共演を希望する学校の選定について。	0	0	0	子どものしあわせ課 (学園都市文化ふれあい財団)	
5		イベント等	教養的なもの	001	子どもたちが体験できる機会の充実	八王子浅川水辺の楽校	生き物の採集やボートでの川遊びなどの体験活動を通して環境教育の充実を図るとともに環境を大切にすると心と行動力を育てる。	子ども	4	252	実行委員会	変更して実施	—	令和3年6月に3つの小学校と1つの幼稚園とウグイの放流を行った。実施に際しては、事前に学校と相談し、安全に行えると確信した場合のみ行った。	利参加者数等・利用者数	社会状況を勘案したうえで、安全にできるだけ多くのイベントを実施する。	4校とイベントを行うことができた。	B	1つでも多くのイベントを行う。	取組の継続	コロナ禍の下、感染者を出さないで1つでも多くのイベントを行うことを目標とする。	250	90	250	水環境整備課 (八王子浅川水辺の楽校運営協議会)

【基本施策1 番号1～49、48事業】

番号	新規	種類	分野	基本施策・施策の展開		事業名	事業内容	令和3年度 実績					令和3年度の目標および評価				令和4年度 目標設定			令和3年度 予算 (千円)	令和3年度 決算 (千円)	令和4年度 予算 (千円)	令和4年度 担当課 (実施主体)		
				NO	施策名			対象者	回数	参加者数 (人)等	実施形態	のこり	影響	実施方法	令和3年度の実施状況 昨年度との比較・変更点 具体的に(120字以内)	指標	令和3年度 目標値	目標値に 対する 実績値	評価					令和4年度 目標値	方向性
6		講座・教室	教養的なもの	002	子どもたちに 向けた 各種講座・教室の充実	八王子「宇宙の学校」	小学校1年生から3年生を対象に、実験工作に取り組みスクーリングと家庭学習を組み合わせた教育プログラムに基づき、子供たちの心に「好奇心」「冒険心」「匠の心」を育てていくことを目的に宇宙教育を行う。また、事業は、市民や学生ボランティア等との協働により進めている。	親子・保護者	—	—	実行委員会	全面中止・延期	—	令和元年度は249組の参加があり、3会場で4回のスクーリングを開催したが、令和2年度、3年度は新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から当該事業を中止とした。その代替事業として、JAXAのホームページを紹介するなど家庭学習が可能なチラシを作成し、対象学年の児童全員に配布した。(昨年度との変更点なし)	参加者の満足度	アンケート集計結果における満足度90%以上	—	評価なし	アンケート集計結果における満足度90%以上	取組の継続	新型コロナウイルスの感染状況を注視しつつ、参加者やボランティアの安全安心を最優先とした対策を図り開催する。会場数3→2、実施回数各会場4回→3回、募集人員も従来の25%程度の会場ごとに22組と18組とした。	700	0	700	子ども科学館 (宇宙の学校実行委員会)
7		講座・教室	育児・教育	002	子どもたちに 向けた 各種講座・教室の充実	青少年講座	子どもたちに社会体験、職業体験、伝統文化体験をはじめとする多様な体験学習の場を提供し、自発的・主体的な学習活動の基礎をつくる。	子ども	14	245	市単独	変更して実施	対面実施	定員制限等の感染対策を講じた上で3館合計16講座を開催し、262名が参加した。(参考:令和2年度は中止が多く、1講座のみ)	参加者の満足度	満足度90%以上	アンケートで「大変満足」「満足」と答えた割合89.8%	A	満足度90%以上	取組の継続	適切な感染対策を講じた上で講座を実施し、子どもたちに多様な体験学習の場を提供していく。	297	214	588	学習支援課
8		講座・教室	健康・スポーツ	002	子どもたちに 向けた 各種講座・教室の充実	ジュニア育成事業	トップアスリートが直接指導する各種スポーツ教室を開催し、子どもたちの競技力と意識の向上を図る。	子ども	5	159	委託	通常通り実施	対面実施	昨年度は、対面のほかにオンラインで開催した教室もあったが、今年度は人数制限等の感染症対策を講じて予定した内容で会場開催することができた。	等者参加者数・利用者数・件数・利用数	360人	参加者数159人(目標値に対する参加割合44.16%)	B	実施	改善・見直しの実施	指定管理者、大学のスポーツ教室の情報をホームページ、Facebookで紹介していく。	1,500	1,500	0	スポーツ振興課
9		講座・教室	育児・教育	002	子どもたちに 向けた 各種講座・教室の充実	夏休み子どもいちょう塾	大学コンソーシアム八王子加盟校の先生たちが、その大学・学部等の特色を活かして、子どもたちに夏休みの特別教室を開講する。	子ども	1	申込者:694人(市内小学校:67校・他1校)参加者:301人	補助	変更して実施	対面実施	市内小学校4～6年生全児童にパンフを配布した。当日は検温・消毒・マスク着用を必須とし、保護者の別室待機等、感染症対策を実施した。一方、満足度向上のために、本年度、初めて受講者に修了証を発行した。	普及・啓発等	対象者への周知をしっかりと行い、安全に配慮して開催する。	軽度の火傷が1件発生したが、配置した看護師により適切に対処された。開催後に感染者の報告はなかった。	A	アンケート調査により、高等教育機関への理解が深まった(7割以上)。	取組の継続	イベントへの参加を通じて、高等教育機関への理解を深めることにより、学園都市八王子の実現を目指す。	1,904	1,145	1,716	学園都市文化課((公財)学園都市文化ふれあい財団・大学コンソーシアム八王子)
10		講座・教室	育児・教育	002	子どもたちに 向けた 各種講座・教室の充実	謎解き!脱出ゲーム	子ども向けグループワークプログラムとして、提示された課題をグループで話し合い協力しながら解決することで協調性等を育む。	子ども	1	22人	市単独	変更して実施	対面実施	感染症感染拡大を防止するため、各館が参加する規模による実施は見送った。準備が整っていた1つの児童館のみで人数を絞って実施した。	数参加者数・利用者数・件数・利用数	1回開催	1回開催	A	1回開催	取組の継続	感染症対策として密の回避、人流の抑制が求められている中で、児童館でどのような行事がどれだけできるか見通しが立たない。そのような中にあるのは、小規模に1回でも実施できればよいと考える。	0	0	0	青少年若者課
11		講座・教室	育児・教育	002	子どもたちに 向けた 各種講座・教室の充実	学校等への車いす等体験学習	児童・生徒を中心に、福祉講話・車いす体験・高齢者疑似体験・点字体験・アイマスク体験を実施する。	子ども	49	2,941名	補助	変更して実施	対面実施	令和2年度に引き続き社協職員が講師として説明していたが、コロナのため車いすのみ貸出に変更し、教員が説明できるようマニュアルと説明動画を配付した。高齢者疑似体験、点字、アイマスクについては消毒維持管理が難しいため、貸出中止とした。	件参加者数・利用者数・利用者数・利用数	対応件数60件参加者数4,000人	対応件数49件参加者数2,941人	B	対応件数60件参加者数4,000人	取組の継続	コロナが終息するまで現状維持での運用を行い、盲導犬及び車いす生活者の講話は学校の協力のもと感染症対策を徹底して、積極的に実施する。	243	57	127	福祉政策課(社会福祉協議会)

【基本施策1 番号1～49、48事業】

番号	新規	種類	分野	基本施策・施策の展開		事業名	事業内容	令和3年度 実績					令和3年度の目標および評価				令和4年度 目標設定			令和3年度 予算 (千円)	令和3年度 決算 (千円)	令和4年度 予算 (千円)	令和4年度 担当課 (実施主体)		
				NO	施策名			対象者	回数	参加者数 (人)等	実施形態	のコロナ影響	実施方法	令和3年度の実施状況 昨年度との比較・変更点 具体的に(120字以内)	指標	令和3年度目標値	目標値に対する実績値	評価	令和4年度目標値					方向性	令和4年度の課題と方向 (120字程度)
12		講座・教室	社会貢献活動	002	子どもたちに向けた各種講座・教室の充実	夏休み体験ボランティア活動	中学生から青年など若年層を対象に夏休み期間を利用して、高齢者施設・障害者施設・保育園等の協力のもと、ボランティア活動を体験することで、住民主体での福祉のまちづくりを行う。	子ども	1	55名	補助	変更して実施	オンライン実施	非接触型の活動として、高齢者施設入所者・利用者に向けて絵手紙などを書く活動を実施した。令和元年度まで実施していた、福祉施設での対面でのボランティア活動については、引き続き中止とした。	数参加者数・利用者数・数利用者	50人	参加者数55人(目標値に対する参加割合110%)	A	50人	改善・見直しの実施	対面方式でのボランティア活動を模索していくと共に、非接触型の活動も企画実施し、つながりあい支えあいの町づくりを目指す。	75	0	127	福祉政策課(社会福祉協議会)
13		イベント等	育児・教育	003	青少年の海外交流・都市間交流の実施	青少年海外交流	海外の青少年と交流し、国際理解を深め、異文化・外国語でのコミュニケーション体験により国際的視野を持った青少年を育成する。	子ども	1	10人	市単独	変更して実施	オンライン実施	新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止の観点から、現地派遣を中止し、海外友好都市である台湾・高雄市の中学生とオンラインによる交流を実施した。	参加者の満足度	参加者アンケートの項目における『参加前後で、海外や外国語への興味・関心が向上したかどうか』の設問に“はい”と回答した参加者の割合が80%以上	A	参加者アンケートの項目における『参加前後で、海外や外国語への興味・関心が向上したかどうか』の設問に“はい”と回答した参加者の割合が80%以上	取組の継続	コロナ禍にあってオンラインやVR等を活用したより効果的な事業の展開	425	0	5,730	学習支援課	
14		イベント等	育児・教育	003	青少年の海外交流・都市間交流の実施	北海道白糠町小学生交流事業	本市と歴史的なゆかりのある北海道白糠町の小学生と交流し、互いの地の歴史や文化を学ぶとともに、友情を育み、親善を深め、相手を思いやる心を醸成する。	子ども	—	—	共催	全面中止・延期	—	令和3年度は新型コロナウイルス感染症の影響等を考慮し未実施。	参加者の満足度	参加者アンケートにおける『交流事業に参加してよかったか』の設問に対して“よかった”と回答した参加者の割合が100%	評価なし	参加者アンケートにおける『交流事業に参加してよかったか』の設問に対して“よかった”または“とてもよかった”と回答した参加者の割合が100%	取組の継続	新型コロナウイルス感染症対策を徹底し、本市と白糠町の歴史や文化の学習・体験を通じて友情及び郷土を愛する心を育む。	101	0	1,035	文化財課	
15		講座・教室	教養的なもの	004	人生を豊かにする多様な講座の提供	市民自由講座	歴史、文学、健康等、多種多様な分野の講座を市民団体・大学・企業などと連携して実施し、市民の生涯学習活動のきっかけづくりとする。	どなたでも	95	2,623	市単独	変更して実施	どちらも実施	定員制限等の感染対策を講じた上で3館合計103講座を開催し、2,822名が参加した。(参考:令和2年度は76講座、2,372名参加)	参加者の満足度	満足度80%以上	アンケートで「大変満足」「満足」と答えた割合83.1%	A	満足度80%以上	取組の継続	適切な感染対策を講じた上で講座を実施し、市民の生涯学習活動のきっかけづくりとする。	1,536	1,587	2,221	学習支援課
16		講座・教室	教養的なもの	004	人生を豊かにする多様な講座の提供	八王子学園都市大学(いちよう塾)	大学等の高度で専門的な学習機会を継続的に提供し、市民の生きがいづくりやまちの活性化に貢献することを目指す。	成人	134	1,863	委託	変更して実施	対面実施	前期講座(4～8月)については、学園都市センターで開講する5月講座(24講座)と6月開講の1講座が中止。また大学の正規科目は、一部の大学で4講座中止となった。後期講座(9～3月)については、引き続き感染対策を行いながら開催。中止となった講座は講師の体調不良で2講座のみ。	参加者の満足度	95%以上	前期一般講座94.1% 後期一般講座89.4%	B	95%以上	取組の継続	新型コロナウイルス感染症対策を行いながら、年間220講座を目標に実施する。また、令和4年度より、公開講座を再開する予定。その内6講座はオンラインにて開催する方向。	54,968	47,866	61,895	学園都市文化課((公財)学園都市文化ふれあい財団))

【基本施策1 番号1～49、48事業】

番号	新規	種類	分野	基本施策・施策の展開		事業名	事業内容	令和3年度 実績					令和3年度の目標および評価				令和4年度 目標設定			令和3年度 予算 (千円)	令和3年度 決算 (千円)	令和4年度 予算 (千円)	令和4年度 担当課 (実施主体)			
								対象者	回数	参加者数 (人)等	実施形態	のコロナ	実施方法	令和3年度の実施状況 昨年度との比較・変更点 具体的に(120字以内)	指標	令和3年度目標値	目標値に対する実績値	評価	令和4年度目標値					方向性	令和4年度の課題と方向 (120字程度)	
				NO	施策名																					
17		講座・教室	家庭生活	004	人生を豊かにする多様な講座の提供	消費生活講座・講演会	自立し、自ら行動する消費者市民を育て、各種消費生活講座・講演会等を開催し、消費者への啓発を図る。	どなたでも	①都共催講座1回(※共催・対面) ②月間講演会1回(※共催・オンライン) ③消費生活講座3回(※市単独・対面)	①41 ②56 ③106	共催	変更して実施	どちらも実施	①当初9月実施を予定していたが、新型コロナウイルス感染症の影響で中止とした。共催先の東京都で再度年度内での共催について打診があり、1月に実現できた。 ②新型コロナウイルス感染症の影響によりオンラインでの講演会開催となった。 ③新型コロナウイルス感染症対策として募集人数を会場定員の半分とした。	参加者の満足度	参加者の90%以上が高評価	参加者へのアンケート調査より ①87.5% ②90% ③85%(3講座平均)	B	参加者の90%以上が高評価	取組の継続	【課題】多くの市民に消費生活についての正しい知識を提供する。自らの消費行動が与える他への影響などへの興味や関心を深める。 【方向】市民が賢い消費生活がおくれるように、身近な消費生活に関するテーマを題材に講座を開催する。コロナ禍の状況による会場の定員数に気を付けながら開催する。東京都等との共催により、社会的関心が深まっているテーマについて、専門家の最新情報を分かりやすく学ぶことができる場を提供することで更なる消費生活への関心を高め消費者市民社会の実現を目指す。	29	0	100	消費生活センター	
18		講座・教室	教養的なもの	005	郷土の歴史や文化財に親しむ	郷土資料館講座・体験学習	郷土の歴史や文化財への関心を高めるような講座及び体験学習を実施する。	どなたでも	3	125	市単独	通常通り実施	対面実施	昨年度は中止としたが、今年度は予定どおり実施(「八王子歴史講座」)した。	用件参加者数・利用者数・利	—	新型コロナウイルス感染症により令和3年は休止する予定であったが、感染状況等を鑑み、実施することができた	A	参加者125人以上	取組の継続	新型コロナウイルス感染症の感染状況等を踏まえたうえで、実施時期や方法を検討する。	18	18	18	文化財課(郷土資料館)	
19		講座・教室	教養的なもの	005	郷土の歴史や文化財に親しむ	文化財見て歩き	郷土の歴史や文化に親しみ、理解を深めるため、地域の文化財を市民に紹介しながら巡る。	どなたでも	1	26	市単独	変更して実施	対面実施	新型コロナウイルス感染症の影響を考慮し、実施回数や定員を調整し開催した。	度参加者の満足	アンケート回答者の7割が「満足」と回答する	参加者の9割が「大変満足」「満足」と回答	A	参加者の7割以上が「満足」と回答	取組の継続	新型コロナウイルス感染症の感染状況等を踏まえたうえで、実施時期や方法を検討する。	3	2	6	文化財課	
20		イベント等	教養的なもの	005	郷土の歴史や文化財に親しむ	八王子車人形と民俗芸能の公演	八王子車人形や説経節(説経浄瑠璃)・獅子舞・木遣などの公演を通して、市固有の伝統芸能への興味を深めるとともに、伝統芸能の継承について理解と関心を高める。	どなたでも	—	—	委託	全面中止・延期	—	新型コロナウイルス感染症の影響により開催中止。HPで過去の公演の動画を配信している。	数・参加者数・利用者数・利用者	参加者500人	—	評価なし	参加者500人	取組の継続	新型コロナウイルス感染症の感染状況等を踏まえたうえで、実施時期や方法を検討する。	1,240	0	1,589	文化財課	
21		イベント等	教養的なもの	006	文化芸術に触れる	八王子市民文化祭	市民による文化芸術活動の発表及び市民への鑑賞の機会を提供することにより、市民文化の振興を図る。	どなたでも	20	参加者1,012人 来場者6,942人	共催	変更して実施	どちらも実施	引き続きコロナ禍での開催となったが、昨年開催した実績から参加者数は増加した。一方で、コロナ禍で周知活動を縮小したこともあり、前年度より来場者は減少した。しかし、新たにWEB上での配信等を活用し、市民による文化活動の発表と市民への鑑賞の機会を提供し、市民文化の振興を図ることができている。(ハイブリッド実施あり)	参加者数・利用者数・利用者数・利用者数	参加者・来場者数の増	参加者1,012人 来場者6,942人	B	参加者・来場者数の増	取組の継続	コロナ禍の影響により、今年度も参加者、来場者数の減少が見込まれる。しかし、会場でのコロナ対策を徹底したうえで、SNS等を活用してイベントの周知を図りつつ、オンライン配信等を活用することで、市民による文化活動の発表と市民への鑑賞の機会を提供し、市民文化の振興を図っていきたい。	6,209	6,209	6,070	学園都市文化課	

【基本施策1 番号1～49、48事業】

番号	新規	種類	分野	基本施策・施策の展開		事業名	事業内容	令和3年度 実績					令和3年度の目標および評価				令和4年度 目標設定			令和3年度 予算 (千円)	令和3年度 決算 (千円)	令和4年度 予算 (千円)	令和4年度 担当課 (実施主体)		
								対象者	回数	参加者数 (人)等	実施形態	のコロナ	実施方法	令和3年度の実施状況 昨年度との比較・変更点 具体的に(120字以内)	指標	令和3年度目標値	目標値に対する実績値	評価	令和4年度目標値					方向性	令和4年度の課題と方向 (120字程度)
				NO	施策名																				
22		イベント等	教養的なもの	006	文化芸術に触れる	八王子コミュニティオペラ	市民に身近な場所でオペラ合唱を学ぶ機会を提供し、文化芸術への市民参加の普及を促進する。	どなたでも	—	—	補助	全面中止・延期	—	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、一時休止中	件参加者数・利用者数・利用	—	—	評価なし	入場率70%以上を目標とする。	改善・見直しの実施	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため令和2年度より休止していたが、令和4年は趣向を変えて、これまでのコミュニティオペラを題材としたシンポジウム(トークイベント)を予定。令和5年度以降は2年に1回本公演を実施していく。	0	0	998	学園都市文化課((公財)八王子市学園都市文化ふれあい財団・芸術文化振興課)
23		その他	育児・教育	007	読書のまち八王子の推進	乳幼児の読書活動支援	ブックスタート事業やおはなし会、それに伴う出張型利用者登録など、発達段階に応じた切れ目ない読書活動支援により、図書館の利用を促進し、乳幼児の読書習慣の形成を図る。	乳幼児	【ブックスタート】72回 【おはなし会】67回	【ブックスタートの参加者数】2,819人 【出張型利用者登録の登録者数】1,313人 【おはなし会】934人	市単独	変更して実施	対面実施	新型コロナウイルス感染症拡大を受け、対面での読み聞かせを中止し、ブックスタートセットの配布のみ実施した。また、出張型の利用者登録の実施を全保健福祉センターに拡大し、図書館利用の促進を図った。	その他	【ブックスタート参加者数】2,329人 【出張型利用者登録の登録者数】475人 【おはなし会参加者数】197人	A	【ブックスタートの参加者数】2,819人 【出張型利用者登録の登録者数】1,313人 【おはなし会】934人	取組の継続	ブックスタート等について、新型コロナウイルスの感染症防止対策を十分に取ながら実施する必要がある。また、出張型利用者登録を活用し、図書館利用の促進を図る。	3,111	2,807	2,885	図書館課	
24		イベント等	育児・教育	007	読書のまち八王子の推進	本のPOPコンテスト(R2までは「読書感想画・読書感想文コンクール」を実施)	子どもたちが読書に親しむことを目的に、市内在住の小学生～大学生を対象に、本のPOPコンテストを開催した。	子ども	1	【応募作品数】4,122	市単独	通常通り実施	対面実施	学校司書と連携し作成のアドバイスをもらうなど盛り上げたことで、総数4,122点の応募があり、各部門あわせて40作品を入賞とした。また、入賞作品を図書館や市内書店で展示した。	数参加者数・利用者数・数利用者	令和2年度読書感想文・感想画コンクールの応募作品数3,395点	A	応募作品数4,122点	取組の継続	前年度を上回る応募作品数	新しく対象とした高校生や大学生に対して周知を強化していく。	66	34	71	図書館課
25		その他	社会貢献活動	007	読書のまち八王子の推進	地域の学校との連携活動	職場体験や選書体験等を通じた図書館と子どもたち(小学生～高校生)との交流を通して、子どもたちに図書館の機能や魅力を伝えるとともに、図書館に対する意見等を聞くことで、子どもたちの図書館ニーズを把握し、子どもたちの図書館利用を促進する取組等につなげる。	子ども	35	892人	市単独	変更して実施	対面実施	コロナ禍により延期していた、南多摩中等教育学校の1学年全員のフィールドワーク授業の受入れを実施。160名を計2日間受入れ、カード登録・郷土等書架案内等を実施した。また市内小・中学校においてはコロナ禍が続いたことにより、受入可能な時期には感染防止対策を徹底し人数の制限を行いながら職場体験・施設体験などを行った。	参加者数・利用者数・利用者数・利用件数等	コロナウイルス感染症拡大防止に配慮して行うこととし、目標値は設けない。	A	892人	取組の継続	引き続き、南多摩中等教育学校との従来の交流に、調べ学習等への協力を追加し、生徒の図書館利用を促進する。また市内小・中学校を含め、コロナ禍の中の実施となるため、感染防止対策を図りながら感染状況を踏まえた職場体験・施設体験などを行っていく。	—	—	—	図書館課	
26		講座・教室	教養的なもの	007	読書のまち八王子の推進	八王子千人塾	中央図書館が毎年開催する60歳以上の市民を対象とした生涯学習支援事業。図書館の使い方・資料検索方法・論文の書き方等の講座を開催している。	高齢者	1	7人	市単独	変更して実施	対面実施	時期や定員を見直したことで、新型コロナウイルス感染症拡大防止の対策を取りながら2年ぶりに開催することができた。	等者参加者数・者数・利用者数・件数	講座の開催	10月開催(修了者数7名)	A	修了者数5名	取組の継続	講座終了後、グループ活動に参加するなど、調べ学習を継続していくため、講座内容を見直し、さらなる充実を図る。	—	—	—	図書館課

【基本施策1 番号1～49、48事業】

番号	新規	種類	分野	基本施策・施策の展開		事業名	事業内容	令和3年度 実績					令和3年度の目標および評価				令和4年度 目標設定			令和3年度 予算 (千円)	令和3年度 決算 (千円)	令和4年度 予算 (千円)	令和4年度 担当課 (実施主体)		
				NO	施策名			対象者	回数	参加者数 (人)等	実施形態	のコロナ	実施方法	令和3年度の実施状況 昨年度との比較・変更点 具体的に(120字以内)	指標	令和3年度 目標値	目標値に 対する 実績値	評価	令和4年度目 標値					方向性	令和4年度の 課題と方向 (120字程度)
27		その他	教養的なもの	007	読書のまち八王子の推進	図書館おすすめの“ぶっくばっく”	普段は手に取らない新たな本との出会いを提供し、市民の読書活動の質の向上を図るため、図書館司書が選んだ本を3～5冊にパック化し、お楽しみパックとして貸し出す事業。	どなたでも	通年実施	【全館合計パック数】1,212パック 【全館合計貸出冊数】3,134冊	市単独	通常通り実施	対面実施	コロナ禍における読書ニーズに対応するため、季節に応じたイベントとして実施するなど、地域の特性も踏まえ、各館で実施時期や実施方法を工夫して実施した。	その他	年間を通じた実施の継続	【全館合計パック数】1,212パック 【全館合計貸出冊数】3,134冊	A	【全館合計パック数】1,212パック 【全館合計貸出冊数】3,134冊	取組の継続	引き続き幅広い読書ニーズに対応するため、各館で時期や方法を工夫して実施しさらなる充実を図る。	—	—	—	図書館課
28		情報提供・環境整備	教養的なもの	007	読書のまち八王子の推進	新たな読書空間“パークライブラリー”	「新しい生活様式」における身近な読書環境を整備するとともに、読書の普及啓発や図書館情報の効果的な発信を行い、地域の情報拠点として地域コミュニティの活性化に寄与するため、公園を活用し、新たな読書空間の創出やおはなし会等のイベントを実施する。	どなたでも	2	参加者数 約800人	市単独	変更して実施	対面実施	南大沢図書館では近隣公園との連携のほか、今年度は新たに保健福祉センター、大学生の研究ボランティアや高校生のキッチンカーの出店の協力を得て実施し、図書館情報発信拠点として「にぎわい」を創出した。川口図書館では令和3年度の新規事業として、市民センターまつりと同時開催することにより、地域コミュニティの活性化に寄与した。	事業の再構築・充実・拡大等	南大沢図書館ではパークライブラリーを春は子どもを対象とし、秋は子どもから大人までを対象に実施予定。各回約300人を想定しゆったりとした読書環境を提供し、新しい生活様式でのイベントのあり方を試行していく。	A	年2回の実施	取組の継続	春はこども読書の日のイベントとしてミニパークライブラリーを、秋には通常のパークライブラリーを実施する予定。	50	0	0	図書館課	
29		その他	教養的なもの	007	読書のまち八王子の推進	非来館型サービスの拡充	電子書籍・Webサービスの拡充や非来館型利用者登録の実施により、図書館に来館せずに、図書館利用登録や読書ができる環境を整備し、「新しい生活様式」における身近な読書環境の整備を図る。	どなたでも	—	【電子書籍貸出数(令和4年3月時点)】48,956回 【タイトル数(令和4年3月時点)】15,997点	市単独	通常通り実施	—	電子書籍コンテンツ数を拡充したほか、音楽配信サービス「ナクソスミュージックライブラリー」を導入した。	件数・利用者数・利用	前年度を上回る貸出数及びタイトル数	【電子書籍貸出数(令和4年3月時点)】48,956回 【タイトル数(令和4年3月時点)】15,997点	A	前年度を上回る利用状況	取組の継続	「新しい生活様式」に沿った身近な読書サービスとして、市民の認知度を上げるために積極的に情報発信を図る。	5,858	5,294	6,628	図書館課
30		講座・教室	健康・スポーツ	008	スポーツ・レクリエーションに親しむ機会	ネオテニス親子教室	親子参加型のスポーツの場を提供し、八王子市発祥のニュースポーツ「ネオテニス」の普及啓発を図る。	小学3年生以上	—	—	市単独	延全期中止	—	新型コロナウイルス感染症感染拡大防止のため中止	利用者数・件数等	60人	—	評価なし	60人	改善・見直しの実施	対象を親子に限定しない「ネオテニス教室」という形で新たに開催し、教室の対象者を拡大する。	43	0	63	スポーツ振興課
31		イベント等	健康・スポーツ	008	スポーツ・レクリエーションに親しむ機会の充実	ヘルシーウォーキング	市内の名所や自然を感じる施設を巡るウォーキング大会。本事業により、市民の体力、健康増進意識の向上を図る。	どなたでも	—	—	委託	全面中止・延期	—	新型コロナウイルス感染症感染拡大防止のため中止	等者参加・利用者数・件数	1,000人	—	評価なし	1,000人	取組の継続	開会式の中止や一斉スタートの廃止等、感染症対策を講じて3年ぶりに開催する。	740	0	525	スポーツ振興課

【基本施策1 番号1～49、48事業】

番号	新規	種類	分野	基本施策・施策の展開		事業名	事業内容	令和3年度 実績					令和3年度の目標および評価				令和4年度 目標設定			令和3年度予算(千円)	令和3年度決算(千円)	令和4年度予算(千円)	令和4年度担当課(実施主体)		
				NO	施策名			対象者	回数	参加者数(人)等	実施形態	のコロナ影響	実施方法	令和3年度の実施状況 昨年度との比較・変更点 具体的に(120字以内)	指標	令和3年度目標値	目標値に対する実績値	評価	令和4年度目標値					方向性	令和4年度の課題と方向 (120字程度)
32		講座・教室	健康・スポーツ	008	スポーツ・レクリエーションに親しむ機会の充実	夏山登山入門	スポーツ・レクリエーションの普及と市民の体力向上を図るため、市内の団体と協働で登山に必要な知識を身に付ける講習会を開催する。	高校生以上	—	—	共催	全面中止・延期	—	新型コロナウイルス感染症感染拡大防止のため中止	等者参加者数・利用者数・件数	—	—	評価なし	50人	取組の継続	新たにメールでの申込を開始し、参加しやすい体制を構築する。また、感染症対策を十分に講じて実施する。	0	0	0	スポーツ振興課
33		イベント等	健康・スポーツ	008	スポーツ・レクリエーションに親しむ機会の充実	ふれあい運動会	障害者や支援者・ボランティアなどが自主的に運動会を企画・運営し、障害のある人となない人との交流と障害に関する理解を促進する。	どなたでも	—	—	実行委員会	全面中止・延期	—	コロナ禍での安全な運営に課題が残ることから、令和2年度同様、中止となった。	等者参加者数・利用者数・件数	参加団体目標40団体	—	評価なし	参加団体目標40団体	取組の継続	コロナの状況を注視しながら、安全な運動会の開催について模索していく。	2,216(内800千円は市予算)	0	2,216(内800千円は市予算)	障害者福祉課
34		情報提供・環境整備	仕事に必要な知識技能、資格の取得	009	社会人の学び直しの支援(リカレント教育)	社会人の学び直し情報の提供	社会人が学び直しをする際に必要となる情報を、関連する所管や機関、大学等と連携して集め、提供する。	成人	—	—	委託	通常通り実施	—	市の実施する講座、学園都市大学いちょう塾の講座、大学公開講座、都立高校の公開講座、放送大学、職業訓練学校の情報を発信した。また市内交通機関や郵便局、ケーブルテレビなどを周知範囲に含めたアプリ普及のためのキャンペーンを行った。	普及・啓発等	・構築したアプリの保守委託。 ・講座内容の精査。	予定通りアプリの公開ができた。	S	・アプリの継続的かつ効果的な運用。 ・掲載する講座内容の精査。	取組の継続	・掲載している講座の大半が趣味、教養系の講座等であり、「社会人の学び直し」支援のためのアプリとしては掲載内容に乖離がある。 ・今後のアプリの在り方について検討する。	396	396	396	学習支援課
35		講座・教室	仕事に必要な知識技能	009	社会人の学び直しの支援(リカレント教育)	本気の創業塾	市と商工会議所が共同で運営するサイバーシルクロード八王子において、八王子で創業したい人を対象に創業に必要な基礎知識を学ぶ機会を提供する。	成人	6	12	共催	変更して実施	対面実施	前年度は、新型コロナウイルスの影響により、一部オンライン開催としたが、本年度は感染対策を講じた上で、対面実施。	その他	受講生:25人 創業者:7人	受講生:12人 創業者:4人	B	受講生:25人 創業者:7人	取組の継続	対面開催を原則としつつ、新型コロナウイルスの蔓延状況を考慮し、規模縮小、オンライン開催も視野に入れて検討する。	579	579	579	産業振興推進課
36		講座・教室	情報端末に関するスキル向上	010	障害のある人の生涯にわたる多様な学びの支援	パソコン・タブレット教室	障害者の情報収集手段としてIT機器を有効活用ができるよう、障害別に有用なアプリや使用方法について紹介し、日常生活の向上を図る。障害によって会場まで行くことができない人を対象に、訪問相談を実施する。	障害者	85	916	指定管理者	通常通り実施	対面実施	コロナ禍だからこそ実施が求められる事業であることから、予定通り実施した。ICT機器の相談事業への問い合わせが多くあり、事業の必要性を実感している。	利用者数・利用者数	参加者目標1,700名	参加者916人(目標値に対する参加割合53%)	B	参加者目標1,000名	取組の継続	障害のある方の情報格差(デジタルデバイド)を是正するため、スマートフォン講座の実現したい。	1,564	1,537	1,606	障害者福祉課
37		講座・教室	健康・スポーツ	010	障害のある人の生涯にわたる多様な学びの支援	見えにくくなった方の学習	中途視覚障害者を主な対象者として、点字の学習、歩行訓練等を行い、日常生活の向上を図る。	障害者	14	199	指定管理者	変更して実施	対面実施	点字の学習において、「密」になる環境が生まれることから、新型コロナウイルスの感染状況を注視しながら実施を検討した。結果、緊急事態宣言発出時などは事業を休止とした。	数参加者数・利用者数	新規参加者数目標2名	新規参加者数5名	A	講習会実施回数31回	取組の継続	正しく、安全な歩行訓練の実施が困難な事から、外部から講師をお招きするなどしたい。	423	199	433	障害者福祉課
38		講座・教室	社会貢献活動	010	障害のある人の生涯にわたる多様な学びの支援	中途失聴難聴者のための手話講習会	中途失聴難聴者が、自らのコミュニケーション手段として手話を習得する場として実施する(入門・初級・中級・上級の4クラス)ほか、中途失聴難聴者同士の情報交換の場としている。	障害者	14	193	指定管理者	変更して実施	対面実施	参加者の多くが高齢者である事から、参加者の安心、安全を考え、事業の大半を中止とした。	数参加者数・利用者数	新規参加者数目標2名	新規参加者数4名	A	講習会実施回数70回(全コース合計)	取組の継続	手話学習の他、同じ障害のある仲間づくりの場、聴覚障害に関する情報提供の場として、講座を実施していきたい。	1,142	335	1,142	障害者福祉課

【基本施策1 番号1～49、48事業】

番号	新規	種類	分野	基本施策・施策の展開		事業名	事業内容	令和3年度 実績					令和3年度の目標および評価				令和4年度 目標設定			令和3年度予算(千円)	令和3年度決算(千円)	令和4年度予算(千円)	令和4年度担当課(実施主体)			
								対象者	回数	参加者数(人)等	実施形態	の コ 影 響 ナ	実施方法	令和3年度の実施状況 昨年度との比較・変更点 具体的に(120字以内)	指標 評価	令和3年度目標値	目標値に 対する 実績値	評価	令和4年度目標値					方向性	令和4年度の 課題と方向 (120字程度)	
				NO	施策名																					
39		その他	趣味的なもの	010	障害のある人の生涯にわたる多様な学びの支援	障害のある人も参加しやすい交流活動の場	障害者の孤立化を防止するため、気楽に利用できる交流活動の場として地域活動支援センターを運用し、創作的活動、生産活動の機会の提供、社会との交流の促進を図る。	障害者	—	3,212	委託	変更して実施	対面実施	感染拡大防止の観点から、開所時間の変更などがあり、利用者数は減となった。	数参加者数・利用者数	前年度と同等程度	100%	A	前年度と同等程度	取組の継続	感染防止対策をとりながら、障害者の孤立化を防止するための活動を継続していく。	47,324	46,313	47,324	障害者福祉課	
40		イベント等	社会貢献活動	010	障害のある人の生涯にわたる多様な学びの支援	福祉まつり	市内の社会福祉施設・団体が手作りの作品や食品を販売するほか、ステージ上で太鼓や手話コーラスなどの活動発表を行い、施設利用者と地域住民との交流を図るとともに、福祉ボランティア活動に対する市民の関心と参加を高める。	障害者	—	—	実行委員会	全面中止・延期	—	感染防止のため中止	普及・啓発等	中止	—	評価なし	中止	廃止・休止	福祉まつりは障害者団体等が屋台式飲食販売等で対面販売をするので感染リスクが高い。また、経費や手間に比べて市民などが参加する機会が少なく、実施していたところから参加団体が年々減少していることもあったため、団体等と協議を行い今後の実施について検討を行っている。	1,200	0	1,200	福祉政策課(社会福祉協議会)	
41		イベント等	社会貢献活動	010	障害のある人の生涯にわたる多様な学びの支援	障害者文化展	障害のある人に作品発表の機会を提供するとともに、広く障害者福祉の啓発を行い、賞を贈るなど今後の創作を奨励する。	障害者	28日間(配信期間)	200(視聴回数)	指定管理者	変更して実施	オンライン実施	初めてオンラインによる開催とした。会場展示と同様の出展数、オンラインだからこそ出展ができる作品が集まった。市内特別支援学校からの出展も多く、今後も障害のある方の作品発表の場として期待に込めていきたい。	用参加者数・利用者数・利	作品応募目標100	129	A	作品出展数190点	改善・見直しの実施	障害のある方の作品発表の場として、令和4年度は是非とも会場展示を実施したい。	140	0	139	障害者福祉課	
42		講座・教室	健康・スポーツ	011	健康寿命の延伸につながる生涯学習の取組	市民いきいきリフレッシュ体操	市内の各市民センターで健康体操教室を開催し、市民の健康維持・増進を図る。	成人	115	2,441	市単独	変更して実施	対面実施	昨年度に引き続き、申込方法の変更や人数制限等の感染症対策を講じて開催した。また、気軽にできるストレッチのチラシを作成、配布し、市民の健康増進に努めた。	数参加者数・利用者数	4,500人	参加者数2,441人(目標値に対する参加者の割合54%)	B	4500人	取組の継続	直接指導が可能な会場開催を前提に、状況により動画を活用するなど可能な範囲で開催する。健康維持のためにも、施設が使用可能な限り、人数制限等により開催する予定。	7,269	7,051	7,402	スポーツ振興課	
43		講座・教室	教養的なもの	011	健康寿命の延伸につながる生涯学習の取組	ゆうゆうシニア講座	シニア世代の健康維持や生きがいづくりを目的に、パソコン・タブレット・スマートフォンなどのICTに関連する講座や健康維持に関するプログラムなどを提供する。	高齢者	35	888	市単独	変更して実施	対面実施	定員制限等の感染症対策を講じた上で3館合計35講座を開催し、延べ888名が参加した。(参考:令和2年度は23講座、540名参加)	参加者の満足度	満足度85%以上	アンケートで「大変満足」「満足」と答えた割合82.7%	B	満足度85%以上	取組の継続	適切な感染症対策を講じた上で講座を実施し、ICT関連講座や健康維持に関するプログラムなどを提供していく。	882	671	1,254	学習支援課	
44		その他	教養的なもの	011	健康寿命の延伸につながる生涯学習の取組	高齢者施設読書活動支援	図書館への来館が困難な高齢者の入居施設を対象に、図書の出張貸出しや団体貸出しを実施し、身近で読書に親しめる環境の整備を図る。	高齢者	33	【施設総数】11か所【貸出総数】4,823冊	共催	変更して実施	対面実施	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため出張貸出し時の対面による読み聞かせは中止したものの、貸出しする本の除菌など感染症対策もPRしたところ、施設数や貸出数が前年度を上回る結果となった。	参加者の満足度	前年度を上回る利用状況	【貸出総数】4,823冊(参考)令和2年度4,721冊	A	前年度を上回る利用状況	取組の継続	高齢者施設における新型コロナウイルス感染症拡大防止対策を取りながら事業PRに努め、施設入居者のリクエストにもきめ細かく対応することにより、生涯読書活動を十分支援する。	4,477	4,357	4,479	図書館課	

【基本施策1 番号1~49、48事業】

番号	新規	種類	分野	基本施策・施策の展開		事業名	事業内容	令和3年度 実績						令和3年度の目標および評価				令和4年度 目標設定			令和3年度予算(千円)	令和3年度決算(千円)	令和4年度予算(千円)	令和4年度担当課(実施主体)		
				NO	施策名			対象者	回数	参加者数(人)等	実施形態	のコロナ	実施方法	令和3年度の実施状況 昨年度との比較・変更点 具体的に(120字以内)	指標	令和3年度目標値	目標値に対する実績値	評価	令和4年度目標値	方向性					令和4年度の課題と方向 (120字程度)	
45		講座・教室	健康・スポーツ	011	健康寿命の延伸につながる生涯学習の取組	介護予防講座	フレイル予防の視点を取り入れ、要介護状態になることを防止し、地域において自立した日常生活を営めることを目的とした、各種介護予防講座を実施する。	高齢者	大横4 東浅川20 南大沢253	大横93 東浅川333 南大沢1,849	市単独	変更して実施	どちらも実施	新型コロナウイルス感染症の感染状況を考慮し、一部参加者数などを制限しながら実施した。講座の開催においては、オンラインも活用し、広く普及啓発を実施した。フレイル予防等、教室や講座等以外の場面でも紙面での普及啓発等を実施した。(ハイブリッド実施あり)	普及・啓発等	普及・啓発の対象者数 2,500人 講座等の満足度 80%	大横93人 東浅川333人 南大沢1,849人 講座終了時のアンケートで満足と答えた割合86%~100%	A	普及・啓発の対象者数 2,700人 講座等の満足度 80%	取組の継続	講座や教室への参加後も、運動をはじめとしたフレイル予防のための取組を継続できるように働きかける。また、参加者としてだけでなく、市民が主体となった継続的な取組につながられるよう支援していく。	大横509 東浅川5,472 南大沢5,476	大横444 東浅川4865 南大沢4828	大横387 東浅川5569 南大沢5248	大横保健福祉センター 東浅川保健福祉センター 南大沢保健福祉センター	
46		講座・教室	趣味的なもの	011	健康寿命の延伸につながる生涯学習の取組	生きがいづくりの教室	高齢者及び障害のある人を対象とし、健康の増進、生きがいの高揚、社会参加の促進、参加者間の交流などを支援する。	高齢者・障害者	—	—	市単独	全面中止・延期	—	令和2.3年度感染拡大防止のため実施せず。令和4年度以降は事業廃止。	参加者の満足度	—	—	評価なし	普及・啓発の対象者数 2,700人 講座等の満足度 81%	取組の継続	講座や教室への参加後も、運動をはじめとしたフレイル予防のための取組を継続できるように働きかける。また、参加者としてだけでなく、市民が主体となった継続的な取組につながられるよう支援していく。	大横0 東浅川0 南大沢2,197	—	—	—	—
47																						0	0	0	多文化共生推進課	
外国人のための防災訓練（令和2年度で事業廃止）																										
48		講座・教室	社会問題・市民生活に関するもの	012	性や国籍にかかわらず社会参画につながる学び	男女共同参画に係る講座の開催	男女共同参画社会の実現に向けて、一人一人の個性と能力を發揮できるように、意識啓発や参画のための学習機会を提供する。	どなたでも	有料1回 無料8回	有料9人 無料164人	市単独	変更して実施	どちらも実施	新型コロナウイルス感染症の感染予防の観点及びweb会議ツール（Zoom等）の普及により、対面形式だけでなくオンライン形式による開催も行った。	参加者の満足度	アンケートで「大変満足」または「おおむね満足」と答えた割合90%	アンケートで「大変満足」または「おおむね満足」と答えた割合100%	A	アンケートで「大変満足」または「おおむね満足」と答えた割合90%	取組の継続	引き続き感染症予防策を講じながら、オンライン形式・対面形式それぞれのメリットを活かせるように講座ごとに精査して開催する。	748	597	534	男女共同参画課	
49		講座・教室	教養的なもの	012	性や国籍にかかわらず社会参画につながる学び	国際理解講座	外国の文化への理解と外国人との交流を深め、多文化共生の推進を図る。	どなたでも	5	152	市単独	変更して実施	対面実施	定員制限等の感染対策を講じた上で3館合計5講座を開催し、延べ152名が参加した。(参考:令和2年度は6講座、188名参加)	大等業の再構築・充実・拡	協働体制づくり	市内団体等と協働で5講座を実施	A	協働体制づくり	取組の継続	適切な感染対策を講じた上で講座を実施し、多文化共生の推進を図っていく。	77	98	148	学習支援課	

【基本施策2】(番号50~107、58事業)

番号	新規	種類	分野	基本施策・施策の展開		事業名	事業内容	令和3年度 実績					令和3年度の目標および評価			令和4年度 目標設定			令和3年度 予算 (千円)	令和3年度 決算 (千円)	令和4年度 予算 (千円)	令和4年度 担当課 (実施主体)			
				NO	施策名			対象者	回数	参加者数 (人)等	実施形態	の コ 影 口 響 ナ	実施方法	令和3年度の実施状況 昨年度との比較・変更点 具体的に(120字以内)	指標 評価	令和3年度 目標値	目標値に 対する 実績値	評価					令和4年度目 標値	方向性	令和4年度の 課題と方向 (120字程度)
50		講座・教室	育児・教育	013	地域全体で子どもの育ちを支える	家庭教育啓発リーフレットの配布	子育て中の保護者や行政委員等にリーフレットを配布し、家庭教育について、より広い層に関心をもってもらうとともに、地域で子どもと子育てを応援するよう啓発を行う。	親子・保護者	—	—	委託	通常通り実施	—	市内小学校新入児童の保護者向けにリーフレットを配布した。また、家庭教育支援講座の取組を広く周知するため、動画を八王子市公式YouTubeで公開した。	普及・啓発等	効果的な啓発方法について検討を行う。	予定通りリーフレットを配布するとともに、より広く取組を周知する方法を検討し実施した。	A	効果的な啓発及びリーフレットの配布	取組の継続	より効果的な啓発方法の検討を行う。	0	0	0	学習支援課
51		講座・教室	育児・教育	013	地域全体で子どもの育ちを支える	はちおうじファミリー☆ファシリテーター養成講座	ファシリテーション能力を向上させる講座を開催し、保護者同士や学校(教職員)・家庭・地域をつなぐ人材を養成する。	親子・保護者	—	—	共催	全面中止・延期	—	令和3年度は新型コロナウイルス感染症の影響等を考慮し未実施。	等者参加者・利用者・件数	—	—	評価なし	実施に向け検討	取組の継続	人材の発掘及び担い手の育成の方法について検討を行う。	0	0	0	学習支援課
52		講座・教室	育児・教育	013	地域全体で子どもの育ちを支える	ファミリー・サポート・センター事業	子育ての手助けをして欲しい人とお手伝いができる人が会員登録をして、子育てを地域で相互に助け合う活動を行う。	成人	1	8	補助	変更して実施	対面実施	新型コロナウイルス感染症拡大防止対策として定員を減らして1回実施し、2回中止した	実事業・業の再構築・充	提供会員数 722人	提供会員数 639人	B	提供会員数 731人	取組の継続	新型コロナウイルス感染症拡大防止対策を講じつつ、安全に講習を開催し、会員数の増加を図る	16,424	9,690	16,785	子ども家庭支援センター
53		その他	育児・教育	013	地域全体で子どもの育ちを支える	学童保育所	放課後に家庭で保育ができない児童を対象に、遊びを中心として異年齢集団の中で社会性を身につけさせながら、一人一人の子どもたちの健全な成長を手助けする。	子ども	年末年始、日曜日、祝日を除く毎日	延べ利用者数 1,075,326人	委託	通常通り実施	対面実施	感染症対策をしながら通常保育を実施し、コロナウイルス罹患等により欠席した場合の減免や欠席の仕組みを整えた。また、待機児解消のための期間限定入所の導入、施設整備、保育の充実のための夏季休業中の昼食提供の拡大やスポーツプログラムの実施など、保育の量の拡充と質の向上に取り組んだ	その他	待機児童が多く発生している小学校区について施設整備を実施し待機児解消を図る。目標:2小学校区の整備	S	引き続き待機児童ゼロを継続するとともに、放課後の活動の充実を図る。	取組の継続	一部の小学校では、マンション開発等の影響により、児童数自体の増加が見込まれており、クラス数の増加により余裕教室が借用できない。そのため、近隣のテナントを整備し居場所を確保する。	37,224	22,343	74,154	放課後児童支援課	
54		その他	社会貢献活動	014	学校と地域との連携・協働による生涯学習活動	教育人材バンクへのボランティア希望者の登録	学校と地域が一体となり、子どもを育む環境を整備するため、ボランティア希望者を人材バンクに登録する。	どなたでも	1,587	481	市単独	変更して実施	対面実施	ボランティア活動については、新型コロナウイルス感染症対策を十分に講じ、活動者への募集活動も行ったが、再度新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、活躍の自粛や、活動者からの辞退も重なり、減少した。	参加者数・利用者数・利用者数・利用件数等	他のボランティア関連事業(土曜放課後、学習協力者、学校運営協議会企画事業の3事業)との連携体制の検討	A	地域人材の効果的な活用へのすすめや、新たな人材発掘を積極的に行う。	取組の継続	限られた人材を効果的に活用するためには、人材管理の仕組みの確立及び、新たな人材の発掘が今後の課題と考える。	3,210	1,303	19,675	地域教育推進課	

【基本施策2】(番号50~107、58事業)

番号	新規	種類	分野	基本施策・施策の展開		事業名	事業内容	令和3年度 実績					令和3年度の目標および評価				令和4年度 目標設定			令和3年度 予算 (千円)	令和3年度 決算 (千円)	令和4年度 予算 (千円)	令和4年度 担当課 (実施主体)		
				NO	施策名			対象者	回数	参加者数 (人)等	実施形態	の コ 影 口 響 ナ	実施方法	令和3年度の実施状況 昨年度との比較・変更点 具体的に(120字以内)	指標 評価	令和3年度 目標値	目標値に 対する 実績値	評価	令和4年度目 標値					方向性	令和4年度の 課題と方向 (120字程度)
55		講座・教室	育児・教育	014	学校と地域との連携・協働による生涯学習活動	市立小学校における環境教育支援	市内小学校等の総合的な学習の時間等に実施される環境教育実習に対して、講師の派遣等の支援を行う。	子ども	25	2,163	委託	通常通り実施	対面実施	例年実施している川の学習のほかに、みどりの学習の座学の試行を行った。	数参加者数・利用者数等	支援校25校	支援校25校	A	支援校25校	改善・見直しの実施	川の学習・みどりの学習の両方を行うほか、市内中学校にも参加してもらうなど、より多くの学校に環境教育支援を行う。	1,430	1,430	1,127	環境政策課 (委託先:特定非営利活動法人環境活動センター八王子)
56		講座・教室	育児・教育	014	学校と地域との連携・協働による生涯学習活動	放課後子ども教室	平日の放課後や週末、夏休み等に小学校の施設を活用し、地域の人やボランティアの参画を得て全ての子どもたちに安全で安心な居場所を提供する。	子ども	年間延べ実施日数7,876日	延べ参加者数762,371人	委託	変更して実施	対面実施	新型コロナウイルス感染症拡大の影響により一部事業を縮小・変更したが、小学校の施設を活用し、地域の方による運営や見守りを実施したほか、実施日の拡大を多くの子どもたちに安全で安心な居場所を提供した。	利参加者数等・利用者数	610,000人	延べ参加者数762,371人	A	650,000人	取組の継続	実施日数の拡充や活動内容の充実など、学童保育所との連携による放課後の居場所づくりと、持続可能な放課後子ども教室の運営(PTAや地域における世代交代など、運営団体の担い手不足)に取り組む。	195,543	159,855	253,387	放課後児童支援課 (各小学校地区放課後子ども教室推進委員会)
57		講座・教室	育児・教育	014	学校と地域との連携・協働による生涯学習活動	放課後子ども教室と学童保育所との連携拡大	全ての児童の放課後の安全・安心な居場所を確保し、児童が多様な体験・活動を行うことができるよう、放課後子ども教室と学童保育所の連携による一体型を推進する。	子ども	-	51校	委託	変更して実施	対面実施	新型コロナウイルス感染症拡大の影響により一部事業を縮小・変更したが、小学校の施設を活用し、地域の方による運営や見守りを実施したほか、実施日の拡大を多くの子どもたちに安全で安心な居場所を提供した。	拡事業等の再構築・充実	51校	51校	A	51校	取組の継続	国の「新・放課後総合プラン」で示す「一体型」については現状で達成しており、事業の拡大にあたっては今後、学童保育施設の設置、再整備などが必要である。	0	0	0	放課後児童支援課
58		講座・教室	育児・教育	015	子育て世代がつながるきっかけづくり	子育てひろば(親子ふれあい広場・親子つどいの広場など)	乳幼児及びその保護者が相互の交流を行う場所として、子育てについての相談、情報提供、助言・援助等を行う。	親子・保護者	1	15,833	委託	変更して実施	どちらも実施	新型コロナウイルス感染症拡大防止対策として昨年度は実施中止としていたが、人数制限・予約制等の工夫をし、段階的に緩和措置を講じ、実施を再開させていった。(ハイブリッド実施あり)	拡事業等の再構築・充実	講座実施数2,000回	講座実施数1,631回	B	講座実施数2,000回	取組の継続	新型コロナウイルス感染症拡大防止対策を講じつつの開催。休日に育児参加促進に関する講習会を実施する。	105,005	104,112	104,639	子ども家庭支援センター
59		講座・教室	育児・教育	015	子育て世代がつながるきっかけづくり	子育て応援ひろば	グループワークなどを通じて子育ての中で生じる悩みを解消し、子育て中の保護者を支援する。	どなたでも	5	108	市単独	変更して実施	対面実施	クリエイティブホールで5講座を開催し、子育て中の保護者を支援した。(参考:令和2年度は2講座)	参加者の満足度	満足度90%以上	アンケートで「大変満足」「満足」と答えた割合90.6%	A	満足度90%以上	取組の継続	適切な感染対策を講じた上で講座を実施し、子育て中の保護者を支援していく。	154	60	177	学習支援課
60		講座・教室	育児・教育	015	子育て世代がつながるきっかけづくり	家庭教育支援講座	家庭教育支援講座を茶話会(Fika(フィーカ))形式のワークショップで行うことにより、保護者の心理的負担を軽減し、家庭の教育力の向上を図る。	親子・保護者	6	152人	共催	変更して実施	対面実施	感染予防策を講じて6校で事業を実施するとともに、家庭教育支援アドバイザーの意見をもとに、活動内容の啓発等を目的として、紹介動画をオンラインで公開した。	実事業の拡再構築・充実	6校	6校	S	6校	取組の継続	家庭教育支援チームとの協働により、講座を開催する。	150	146	150	学習支援課

【基本施策2】(番号50~107、58事業)

番号	新規	種類	分野	基本施策・施策の展開		事業名	事業内容	令和3年度 実績					令和3年度の目標および評価			令和4年度 目標設定			令和3年度 予算 (千円)	令和3年度 決算 (千円)	令和4年度 予算 (千円)	令和4年度 担当課 (実施主体)			
				NO	施策名			対象者	回数	参加者数 (人)等	実施形態	のコロナ影響	実施方法	令和3年度の実施状況 昨年度との比較・変更点 具体的に(120字以内)	指標 評価	令和3年度 目標値	目標値に 対する 実績値	評価					令和4年度目 標値	方向性	令和4年度の 課題と方向 (120字程度)
61		イベント等	健康・スポーツ	016	地域での活動のきっかけづくり	地区運動会・スポーツ大会	総合型地域スポーツクラブや旧体力づくりへ補助金を交付し、スポーツ大会を通じ、地域コミュニティの活性化やスポーツ実施率の向上を図る。	どなたでも	2	1,178	補助	変更して実施	対面実施	感染症対策を講じて開催することを確認して補助金を交付した。	数参加者数・利用者数等	参加者数 8,000人	参加者数 1,178人 (目標値に対する参加割合 14.7%)	B	8000人	取組の継続	感染症対策を講じて開催することを確認して補助金を交付する。	1,881	129	1,782	スポーツ振興課
62		講座・教室	社会貢献活動	016	地域での活動のきっかけづくり	はちおうじ志民塾	これから定年退職する人や定年を迎えた人を対象に、退職後地域で活動するきっかけづくりをする。	八王子市内で市民活動をしたいと思っている人	15回程度	20~30	委託	通常通り実施	どちらにも実施	定員、講座回数を減らし、例年より時期を遅らせて開講した。また可能な講座はオンライン併用とした。 (ハイブリッド実施あり)	用参加者数・利用者数・利	参加者数 20人	参加者数 17人	A	20~30人	改善・見直しの実施	活発に意見交換を行うグループワークや市民活動団体の活動を実際に見てもらったための現地視察などを行うため、オンラインでの実施には適さない講座が多い。シニア世代を主な対象としていることもあり、講座内容の見直しも必要。	2,759	2,759	2,614	協働推進課
63		イベント等	社会貢献活動	016	地域での活動のきっかけづくり	市民活動入門講座(アクティブ市民塾)	市民活動に対する理解を深め、市民活動を促進する。	どなたでも	6	127	指定管理者	変更して実施	どちらにも実施	令和2年度はコロナの対応で中止等となったことがあったが、令和3年度はコロナ禍での実施を前提に事前準備を行った。 (ハイブリッド実施あり)	数参加者数・利用者数等	参加者数 150人	参加者数 127人	A	150人	取組の継続	コロナ禍において工夫した活動を実施して団体の視点も取り入れ、団体を選定し開催していく。	指定管理料の中で実施	指定管理料の中で実施	指定管理料の中で実施	協働推進課(市民活動支援センター)
64		イベント等	社会貢献活動	016	地域での活動のきっかけづくり	お父さんお帰りなさいパーティー 地域デビューパーティー 802	シニア世代を対象に、市民活動に関する講演や団体紹介など地域での活動に参加するきっかけづくりをする。	どなたでも	1	117	実行委員会	通常通り実施	どちらにも実施	一昨年は中止、昨年は完全オンラインでの実施だったが、令和3年度はほぼ通常通りの実施とし、補助的にオンラインを取り入れた。対面でしか得られない交流もあり概ね好評で多くの参加があった。 (ハイブリッド実施あり)	用参加者数・利用者数・利	参加者数 100人	参加者数 117人	A	120人	取組の継続	市民活動、地域活動団体は、オンラインに対応できていない団体も多く、現時点では対面で開催することが有効と考えるが、市民活動団体等のオンライン対応力を上げるための支援も行っていく。	200	200	200	協働推進課
65		講座・教室	社会貢献活動	016	地域での活動のきっかけづくり	生涯学習コーディネーター養成講座	自ら講座を企画・運営し、市民の生涯学習活動を支援する「生涯学習コーディネーター」を養成する。	成人	1	9人	共催	変更して実施	対面実施	例年は5~6月に開催をしているが、令和3年度は新型コロナウイルス感染症の感染状況を鑑み、実施時間の短縮・定員の縮小を行い、9~10月に開催をした。	参加者の満足度	80%以上	アンケートで「満足」「やや満足」と答えた割合71.6%	B	アンケートで「満足」「やや満足」と答えた割合80%以上	取組の継続	共催団体とより効果的な開催方法の検討を行いながら、参加者の増加と満足度の向上を図り、より多くの市民が生涯学習を行うきっかけづくりを提供する。	26	0	26	学習支援課
66		講座・教室	社会貢献活動	017	地域で活躍するボランティアの養成・支援	シニア元気塾 ボランティア入門講座	ボランティア活動のきっかけづくり、高齢者の社会参加促進を図る。	高齢者	1	受講者数 24人	委託	通常通り実施	対面実施	令和2年度は新型コロナウイルスの影響により中止にしたが、令和3年度は通常通り実施した。	数参加者数・利用者数等	修了者数 30人/年	修了者数 24人/年	A	修了者数 30人/年	取組の継続	新型コロナウイルスの影響により高齢者の外出自粛が長期間続いたなかで、多くの方にボランティア活動のきっかけづくりの機会を提供できるよう広く周知を図る。	2,847	2,847	2,976	高齢者いきいき課

【基本施策2】(番号50~107、58事業)

番号	新規	種類	分野	基本施策・施策の展開		事業名	事業内容	令和3年度 実績					令和3年度の目標および評価				令和4年度 目標設定			令和3年度 予算 (千円)	令和3年度 決算 (千円)	令和4年度 予算 (千円)	令和4年度 担当課 (実施主体)		
				NO	施策名			対象者	回数	参加者数 (人)等	実施形態	の コ 影 口 響 ナ	実施方法	令和3年度の実施状況 昨年度との比較・変更点 具体的に(120字以内)	指標 評価	令和3年度 目標値	目標値に 対する 実績値	評価	令和4年度目 標値					方向性	令和4年度の 課題と方向 (120字程度)
67		講座・教室	社会貢献活動	017	地域で活躍するボランティアの養成・支援	川の学習サポーター養成講座	市民が自発的に環境保全活動を行う際のリーダー役となる「八王子市川の学習サポーター」を養成する。川に関する基本的な知識を学び、市内小学校等で環境教育支援を行う人材を育成する。	成人	1	8	委託	通常通り実施	対面実施	川の学習の支援者育成に特化した内容とし、講座回数の減・開催曜日の変更等により、現役世代が参加しやすい講座を開催した。	参加者数等・利用者数	参加者数 20人	参加者数 11人	B	参加者数20人	改善・見直しの実施	講座修了後に教育支援に携わることができるよう、講座の開催時期を見直して実施する。	920	920	440	環境政策課 (委託先:特定非営利活動法人環境活動センター八王子)
68		講座・教室	社会貢献活動	017	地域で活躍するボランティアの養成・支援	学校図書館ボランティア研修会	学校図書館の環境整備及び読書活動の推進に必要な技術及び知識を習得する。	どなたでも	1	24	市単独	通常通り実施	対面実施	令和2年度は中止 令和3年度は外部講師を招いて教育センターにて対面実施	参加者数等・利用者数	107人 (全校×1名)	参加者数 24人	C	107人 (全校×1名)	取組の継続	新型コロナウイルス感染症の状況により、実施方法やテーマを検討する必要がある。	0	7	0	教育指導課
69		講座・教室	生活に関する市民問題	017	地域で活躍するボランティアの養成・支援	日本語ボランティア養成講座	外国人市民の日本語学習支援のための支援者を養成する講座を実施する。	どなたでも	2	44	委託	変更して実施	対面実施	3回実施する予定だったが、新型コロナウイルス感染症の影響で1回中止となった。	参加者数等・利用者数	45人	参加者数 44人	A	45人	取組の継続	新型コロナウイルスの感染防止対策を十分に取しながら実施する必要がある。	469	382	469	多文化共生推進課
70		講座・教室	社会貢献活動	017	地域で活躍するボランティアの養成・支援	図書館ボランティア等の連携・支援	図書館事業に関わる関係団体やボランティアと連携し、図書館サービスを拡充するとともに、育成やスキルアップを支援する。	どなたでも	563	697	市単独	変更して実施	対面実施	緊急事態宣言及びまん延防止期間中は中止した。また、移動や館内滞在に不安のある方は自粛して頂いた。前年度は全面中止であった。	その他	前年度を上回る回数、及び参加者数	【実施回数】 563回 【参加者数】 697人	A	前年度を上回る回数、及び参加者数	取組の継続	新型コロナウイルスの感染防止対策を十分に取しながら実施する必要がある。	1,269	735	1,287	図書館課
71		講座・教室	社会貢献活動	017	地域で活躍するボランティアの養成・支援	手話講習会	初級・中級手話講習会や手話通訳者養成入門講座等を開催し、手話通訳ボランティアの養成及び障害のある人に対する理解の促進を図る。	成人	143	1,380	指定管理者	通常通り実施	対面実施	透明マスク・大型アクリルパネルを使用するなどの感染防止対策を講じ、予定通り実施した。	参加者数等・利用者数	参加者目標 30名(中級) 20名(養成入門) 応募者目標 20名(養成講座)	中級参加者12名 養成入門参加者16名 養成講座応募9名	B	参加者目標 20名(中級) 各コース20名(養成入門) 応募者目標 10名(養成講座)	取組の継続	令和2年度に手話講習会事業を休止した事で、進級者が減少し、受講申込が低迷している。当センターの事業や、イベント等で啓発活動を行い、市民の皆様が手話に関心を持っていただけるような取り組みを行っていききたい。	1,557	1,678	1,557	障害者福祉課
72		講座・教室	社会貢献活動	017	地域で活躍するボランティアの養成・支援	要約筆記者養成講習会	手話を使えない、中途失聴難聴者の通訳手段である要約筆記技術の習得、要約筆記者の養成の場として、2か年にわたって実施する。	成人	42	423	指定管理者	通常通り実施	対面実施	実施期間中、新型コロナウイルスの感染拡大により発出された緊急事態宣言等の期間においても事業を継続した。毎年2月に実施される全国統一要約筆記者認定試験には8名が受験し、内5名が合格した。	参加者数等・利用者数	参加者目標 10名	参加者11名	A	参加者目標5名	取組の継続	要約筆記には「手書き」「パソコン」があり、両方法共に人材が求められている。隔年ごとに実施をし、養成が途切れぬようにしていきたい。	1,500	1,503	1,550	障害者福祉課
73		講座・教室	社会貢献活動	017	地域で活躍するボランティアの養成・支援	災害ボランティアリーダー養成講座	災害ボランティアセンターの運営に協力いただく災害ボランティアリーダー(市民ボランティア)を養成するために講座を実施する。	成人	新規登録者全3回 継続登録者全2回	新規登録者:14名 継続登録者:12名	補助	通常通り実施	対面実施	感染症対策を行いながら、新規登録者向け講座を3回、継続登録者向け講座を2回実施。また、災害ボランティアセンター運営訓練では住民や関係機関も一緒に参加いただいた。	参加者数等・利用者数	新規受講者20名	新規受講者14名	B	講座実施回数 2回 参加人数30名	取組の継続	災害ボランティアセンターの円滑な運営が実施できるよう検証を積み重ねると共に、住民や協力団体など関わっていただけの人を増やしていく。	86	64	182	福祉政策課 (社会福祉協議会)

【基本施策2】(番号50~107、58事業)

番号	新規	種類	分野	基本施策・施策の展開		事業名	事業内容	令和3年度 実績					令和3年度の目標および評価				令和4年度 目標設定			令和3年度 予算 (千円)	令和3年度 決算 (千円)	令和4年度 予算 (千円)	令和4年度 担当課 (実施主体)		
				NO	施策名			対象者	回数	参加者数 (人)等	実施形態	の コ 影 口 響 ナ	実施方法	令和3年度の実施状況 昨年度との比較・変更点 具体的に(120字以内)	指標 評価	令和3年度 目標値	目標値に 対する 実績値	評価	令和4年度目 標値					方向性	令和4年度の 課題と方向 (120字程度)
74		講座・教室	社会問題・市民生活に 関するもの	018	地域の課題解決につながる学びの提供	はちおうじ出前講座	市職員等が地域の団体等へ出向き、担当業務に関して専門知識を活かした講座を行うことで、市民の生涯学習活動を支援し、意識の向上を図るとともに、市政に対する理解を深める。	どなたでも	1,051件	67,953人	共催	変更して実施	どちらも実施	新型コロナウイルス感染症緊急事態宣言が発出されたことに伴い、感染拡大防止の観点から、4月26日から5月31日まで受付を中止した。	参加者数・利用者数・利用者数等	利用者数 150,000人以上	67,953人	B	利用者数 150,000人以上	取組の継続	市民の多様な学習ニーズに応えられるよう、講座提供先の開拓に努める。また、オンライン講座の開催等感染症対策を講じながらの実施方法を検討する。	—	—	—	学習支援課
75		講座・教室	教養的なもの	018	地域の課題解決につながる学びの提供	エコひろばでの環境教育	環境について関心を持つきっかけづくりとして、環境教育・環境学習の講座を実施する。	どなたでも	32	1,337	委託	変更して実施	対面実施	密を避けるため募集人数を30人前後から15人程度に縮小し実施した。	参加者数・利用者数・利用者数等	5,000人	参加者数 1,396人	C	5,000人	改善・見直しの実施	新型コロナウイルス感染症のまん延状況に応じて、中止や延期を視野に入れる。開催する場合には予防対策をした上で実施する。また、IT技術を活用してオンライン講座などを開催する。	7,832	7,832	7,217	環境政策課 (委託先:特定非営利活動法人環境活動センター八王子)
76		講座・教室	社会問題・市民生活に 関するもの	018	地域の課題解決につながる学びの提供	クールセンター八王子での省エネ講座	地球温暖化対策に興味を持ち、実践につなげられるように、講座を実施する。	どなたでも	17	292	委託	変更して実施	どちらも実施	基本的には、対面での講座を実施したが、講座に來られない方向けに動画配信も実施した。	普及・啓発等	—	目標値未設定のため算出不可	A	—	改善・見直しの実施	より多くの市民の意識啓発につながるよう、内容の工夫や最適な手法(対面やオンライン等)を組み合わせた講座を実施する。	23,615	23,603	23,978	環境政策課 (委託先:特定非営利活動法人エヌピーオー・フュージョン長池)
77		講座・教室	健康・スポーツ	018	地域の課題解決につながる学びの提供	健康づくりサポーターの養成	地域介護予防活動支援事業として、広く健康に関する知識の普及、運動(八王子けんこう体操等)、体力測定の介護予防の活動を推進するため、健康づくりサポーターの養成を行う。	健康づくりサポーター養成講座はどなたでも。フォロー講座はサポーター登録者が対象。	養成講座実施なし、フォロー講座9回	0養成講座実施なし、フォロー講座165人	市単独	変更して実施	対面実施	養成講座は2年に1回の実施のため、今年度はなし。健康づくりサポーター(R4.3現在136名登録)のフォロー講座はコロナ対策を講じ人数を制限して実施した。	参加者数・利用者数・利用者数等	健康づくりサポーターの活動状況「活動あり」65%以上	健康づくりサポーターの活動状況「活動あり」82%	A	健康づくりサポーターの活動状況「活動あり」65%以上	取組の継続	第6期生養成講座とフォロー講座を実施し、健康づくりサポーターが地域で活躍できるよう支援する。	健康政策課 444 大横 30 東浅川 58 南大沢 49	健康政策課 374 大横 15 東浅川 28 南大沢 46	健康政策課 435 大横 102 東浅川 47 南大沢 52	健康政策課
78		講座・教室	仕事に必要な知識技能、	018	地域の課題解決につながる学びの提供	介護人材養成研修	市内介護サービス事業所等への就労希望者を対象に、介護職に必要な知識・技術を学ぶ「介護に関する入門的研修」及び「生活支援ヘルパー研修」を実施する。合わせて就職相談会を実施し、介護人材の確保を図る。	どなたでも	4	受講者数 109人	委託	通常通り実施	対面実施	令和2年度は新型コロナの影響により中止したが、令和3年度は通常通り実施した。ただ、新型コロナの感染対策により研修会場の収容人数が半減されたため、募集定員も半減(50人→25人)した。	用件参加者数・利用者数・利用者数等	①修了者数 200人/年 ②マッチング数 30人/年	①修了者数 86人/年 ②マッチング数 16人/年	A	①修了者数 200人/年 ②マッチング数 30人/年	取組の継続	研修会場の収容人数が通常通りであれば、募集定員を前年から倍増(25人→50人)する。また、研修を広く市民に知らせるための周知方法や周知先を検討する。	7,598	3,803	7,202	高齢者いきいき課

【基本施策2】(番号50~107、58事業)

番号	新規	種類	分野	基本施策・施策の展開		事業名	事業内容	令和3年度 実績					令和3年度の目標および評価				令和4年度 目標設定			令和3年度 予算 (千円)	令和3年度 決算 (千円)	令和4年度 予算 (千円)	令和4年度 担当課 (実施主体)		
				NO	施策名			対象者	回数	参加者数 (人)等	実施形態	の コ 影 響 ナ シ	実施方法	令和3年度の実施状況 昨年度との比較・変更点 具体的に(120字以内)	指標 評価	令和3年度 目標値	目標値に 対する 実績値	評価	令和4年度目 標値					方向性	令和4年度の 課題と方向 (120字程度)
79		イベント等	趣味的なもの	019	学習成果の発表と学びの広がり	生涯学習フェスティバル	日頃の学習成果を作品展示やステージを通じて発表する機会を設け、市民の自発的な学習活動を行うきっかけづくりと、学びを通じた市民交流の場を提供する。	どなたでも	1	オンライン動画視聴回数181回	共催	変更して実施	オンライン実施	新型コロナウイルス感染症の急速な感染拡大を受け会場開催は中止としたが、6団体の発表・紹介動画を市公式YouTubeチャンネルに掲載し、オンラインで開催をした。	実 事 ・ 業 拡 大 再 構 築 ・ 充	オン ライ ン の 動 画 配 信	オン ライ ン 動 画 視 聴 回 数 181 回	A	延べ来場者数500人以上	取組の継続	感染症対策を講じながら、参加者にとって安心して参加できる開催方法を検討し、生涯学習を行うきっかけづくりを市民に提供する。	6	0	5	学習支援課
80		イベント等	育児・教育	019	学習成果の発表と学びの広がり	八王子市立小・中・義務教育学校合同作品展「おもしろ展」	児童・生徒の作品の発表を通して、豊かな心情を培い、創造的な能力の向上を図る。	どなたでも	1	来場者6,500人程度	共催	変更して実施	対面実施	ホームページによる開催から、来場者の人数を制限し、会場のレイアウトを変更する等行ったうえで会場による開催を実施。	参 加 者 の 満 足 度	アン ケ ー ト で と て も よ か っ た ・ よ か っ た と 答 え た 割 合 99%	アン ケ ー ト で と て も よ か っ た ・ よ か っ た と 答 え た 割 合 99.5%	A	アン ケ ー ト で と て も よ か っ た ・ よ か っ た と 答 え た 割 合 99%	改善・見直しの実施	参加者のアンケートによると、目標を達成できたものの、会場開催をすることで参加者の入場制限を行ったことによる、改善を求める声が多数あったため、次年度に向けて検討していく。	2,694	2,498	3,516	学務課
81		イベント等	社会問題・市民生活に関するもの	019	学習成果の発表と学びの広がり	市民センターまつり	地域コミュニティ拠点の市民センターで、住民協働による市民センターまつりを開催し、コミュニティ活動の育成・活性化を目指す。	どなたでも	0	866	補助	変更して実施	対面実施	川口やまゆり館まつりのみ規模を縮小して実施。外16市民センターまつりは、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止。	数 参 加 者 用 数 件 ・ 数 利 用 者	イ ベ ン ト を 実 施 す る 際 は 、 基 本 的 な 感 染 防 止 対 策 を 徹 底 し た う え で 実 施 す る。	感 染 対 策 を 行 っ た う え で 実 施 し た。	A	イ ベ ン ト を 実 施 す る 際 は 、 基 本 的 な 感 染 防 止 対 策 を 徹 底 し た う え で 実 施 す る。	取組の継続	新型コロナウイルス感染症対策を施したうえで実施可能か検討する。	14,794	517	14,794	協働推進課
82		イベント等	趣味的なもの	019	学習成果の発表と学びの広がり	南大沢総合センターまつり・川口やまゆり館まつり	生涯学習センターを利用している団体と協働して日頃の学習の成果を発表する機会を設け、市民の交流の場を提供するとともに、地域の活性化につなげる。	どなたでも	1	270	市単独	変更して実施	対面実施	川口やまゆり館まつり(11月)については、感染対策を講じた上で2年ぶりに開催し、10団体の参加(作品展示)があった。南大沢総合センターまつりについては、市民センターまつりと合わせて2年連続で中止となった。	用 参 加 者 数 ・ 利 用 者 数 ・ 利	20 団 体 程 度 の 参 加	10 団 体 の 参 加	B	10~20 団 体 の 参 加	取組の継続	来場者の密集・密接を防ぐ対策を検討し、より多くの団体に日頃の学習成果を発表する機会を提供していく。	0	0	0	学習支援課
83		イベント等	社会問題・市民生活に関するもの	019	学習成果の発表と学びの広がり	八王子まつり	地域文化の創造と継承、市民相互の連帯と融和、観光都市八王子のイメージの高揚を図る。	どなたでも	—	—	補助	全面中止・延期	—	新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため中止	参 加 者 の 満 足 度	イ ベ ン ト を 実 施 す る 際 は 、 基 本 的 な 感 染 防 止 対 策 を 徹 底 し た う え で 実 施 す る。	—	評 価 な し	イ ベ ン ト を 実 施 す る 際 は 、 基 本 的 な 感 染 防 止 対 策 を 徹 底 し た う え で 実 施 す る。	取組の継続	新型コロナウイルス感染症対策を施したうえで開催予定	48,800	11,579	42,437	協働推進課 (学園都市文化ふれあい財団・八王子まつり実行委員会)
84		イベント等	社会問題・市民生活に関するもの	019	学習成果の発表と学びの広がり	八王子いちよう祭り	有志市民によるまつりで、地域の発展と自然と心のふれあう地域文化の社会的な広がりを目指す。	どなたでも	1	455,000	補助	変更して実施	対面実施	新型コロナウイルス感染症拡大防止対策を図りながら規模を縮小し開催。	数 参 加 者 用 数 件 ・ 数 利 用 者	イ ベ ン ト を 実 施 す る 際 は 、 基 本 的 な 感 染 防 止 対 策 を 徹 底 し た う え で 実 施 す る。	感 染 対 策 を 行 っ た う え で 実 施 し た。	A	イ ベ ン ト を 実 施 す る 際 は 、 基 本 的 な 感 染 防 止 対 策 を 徹 底 し た う え で 実 施 す る。	取組の継続	新型コロナウイルス感染症対策を施したうえで開催予定	5,364	5,364	5,364	協働推進課 (学園都市文化ふれあい財団・いちよう祭り祭典委員会)

【基本施策2】(番号50~107、58事業)

番号	新規	種類	分野	基本施策・施策の展開		事業名	事業内容	令和3年度 実績					令和3年度の目標および評価				令和4年度 目標設定			令和3年度 予算 (千円)	令和3年度 決算 (千円)	令和4年度 予算 (千円)	令和4年度 担当課 (実施主体)		
				NO	施策名			対象者	回数	参加者数 (人)等	実施形態	のコロナ影響	実施方法	令和3年度の実施状況 昨年度との比較・変更点 具体的に(120字以内)	指標 評価	令和3年度 目標値	目標値に 対する 実績値	評価	令和4年度目 標値					方向性	令和4年度の 課題と方向 (120字程度)
85		イベント等	社会問題・民生生活に関するもの	019	学習成果の発表と学びの広がり	フラワーフェスティバル由木	由木地域の活性化とコミュニティづくりを図る。	どなたでも	—	—	補助	全面中止・延期	—	新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため中止	数参加者数・利用者数・数・利用者数	イベントを実施する際は、基本的な感染防止対策を徹底したうえで実施する。	—	評価なし	イベントを実施する際は、基本的な感染防止対策を徹底したうえで実施する。	取組の継続	開催中止決定済み	4,000	250	4,000	協働推進課(学園都市文化ふれあい財団・フラワーフェスティバル祭典委員会)
86		イベント等	教養的なもの	019	学習成果の発表と学びの広がり	八王子城跡まつり	親子で楽しめるイベントを地元や市民団体等とともに協働して開催し、八王子市の歴史に興味を持ち、郷土愛の醸成を図る。	どなたでも	—	—	委託	全面中止・延期	—	新型コロナウイルス感染症の影響により開催中止。	参加者数・利用者数・利用者数・利用件数等	来場者1,000人	—	評価なし	—	廃止・休止	市と市民団体との協働で、八王子城跡における八王子の歴史を扱う催しについては、「八王子北条氏照まつり」などが行われる予定になっており、親子で楽しめるイベントとなっている。これは市民団体が主導で行われることから、これとは別に、市が主体となって行う「八王子城跡まつり」を今後実施する予定は無い。	500	0	0	—
87		イベント等	家庭生活	019	学習成果の発表と学びの広がり	消費生活フェスティバル	消費者団体相互の交流を図るとともに、消費者団体等と連携して、消費生活に関する情報を体験や遊びを通して消費者に提供する。	どなたでも	1ヶ月間 (Web開催) 2022/3/1~ 3/31	期間内閲覧数 1222件	市単独	変更して実施	オンライン実施	新型コロナウイルス感染症拡大防止を図るため、企画当初から開催方法をWEB開催とした。	事業の再構築・充実・拡大等	アンケートの回答者の90%以上が高評価	約70%楽しかったと回答(回収15)	B	参加者の90%以上が高評価	取組の継続	関係団体と連携し、充実した内容となったが、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、閲覧者はかなり減った。こういった状況でも安全に配慮し可能な限り実施(実開催)できるよう努める。 【課題】参加団体、参加者の増 【方向】消費者団体相互間の交流を図り、広報等の周知を工夫するとともに、消費生活センターの認知度を高める。新型コロナウイルス感染症の感染状況を見ながら八王子市消費生活フェスティバルをWEBまたはリアルで実施する。	0	0	74	消費生活センター
88		イベント等	健康・スポーツ	019	学習成果の発表と学びの広がり	健康フェスタ・食育フェスタ	例年、5月第3日曜日を「市民健康の日」と定め、健康づくりや食育について、子どもから大人まで、楽しみながら、体験できる学びと市民交流の場を提供する。	どなたでも	—	—	実行委員会	全面中止・延期	—	新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため、開催時期をずらして屋外(八王子城跡)にて行う予定にしていたが、第5波での感染拡大状況を鑑みて、中止とした。	利参加者数等・利用者数	来場者アンケートで「健康づくりのきっかけとなった」と回答する人の割合 90%以上	—	評価なし	来場者アンケートで「健康づくりのきっかけとなった」と回答する人の割合 90%以上	取組の継続	コロナ禍でのイベント開催となるため、例年より規模を縮小してイベントを行う。規模縮小の中でも子どもから大人まで楽しみながら体験できる学びと市民交流の場を提供する。	200	83	1,700	健康政策課

【基本施策2】(番号50~107、58事業)

番号	新規	種類	分野	基本施策・施策の展開		事業名	事業内容	令和3年度 実績					令和3年度の目標および評価				令和4年度 目標設定			令和3年度 予算 (千円)	令和3年度 決算 (千円)	令和4年度 予算 (千円)	令和4年度 担当課 (実施主体)		
				NO	施策名			対象者	回数	参加者数 (人)等	実施形態	の コ 影 口 響 ナ	実施方法	令和3年度の実施状況 昨年度との比較・変更点 具体的に(120字以内)	指 評 標 価	令和3年度 目標値	目標値に 対する 実績値	評 価	令和4年度目 標値					方向性	令和4年度の 課題と方向 (120字程度)
89		イベント等	社会問題・市民生活に 関するもの	019	学習成果の発表と学びの広がり	八王子環境フェスティバル	環境の保全についての関心と理解を深め、環境保全活動への参加意欲を高めることを目的とし、日一の学習成果を発表する機会を設け、市民の自発的な学習活動のきっかけづくりと、学びを通じた交流の場を提供する。	どなたでも	4	1,637	実行委員会	変更して実施	対面実施	6月の開催は中止とし、11月にイトーヨーカドー八王子店・イーアス高尾にて、規模を縮小して4日間開催した。	その他	1回開催	1回開催	A	1回開催	取組の継続	6月5日にJR八王子駅北口西放射線ユーロード・南口とちの木デッキにて開催する。	700	700	700	環境政策課 (八王子環境フェスティバル実行委員会)
90		イベント等	育児・教育	020	日頃の成果の発揮と学び意欲の醸成	こども将棋大会	日本の伝統文化である「将棋」に親しみ、大会を通じてコミュニケーションや礼儀作法の修得など、子どもたちの健全育成を図る。	子ども	—	—	共催	全面中止・延期	—	新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため、大会を中止とした。	数参加者数・利用者数等	別の開催方法で実施する。	—	評価なし	参加者80人以上	取組の継続	新型コロナウイルス感染症の影響から2年間事業が中止になってしまっていたため、令和4年度は感染症対策を講じながら参加者にとって安心できる開催方法を検討し、実施をする。	0	0	503	学習支援課
91		イベント等	健康・スポーツ	020	日頃の成果の発揮と学び意欲の醸成	市民スポーツ大会	スポーツにおける市民の日頃の練習の成果を発揮できる場を提供し、競技の普及、競技力の向上を図る。	どなたでも	57	8,204	委託	変更して実施	対面実施	13競技実施、19競技中止。感染症対策を行いながら、開催できるものを実施した。	数参加者数・利用者数等	17,000人	参加者数8,204人(目標値に対する参加割合48.25%)	B	17,000人	取組の継続	十分な感染症対策を講じたうえで開催できるよう、実施団体と協議、調整を行う。	3,371	1,836	3,371	スポーツ振興課
92		イベント等	健康・スポーツ	020	日頃の成果の発揮と学び意欲の醸成	市民レクリエーション大会	市民が日頃のレクリエーション活動の成果を発揮する場と、それらを観る機会を提供し、市民の生涯学習活動を支援する。	どなたでも	—	—	委託	全面中止・延期	—	新型コロナウイルス感染症感染拡大防止のため中止	等参加者数・利用者数・件数	1,000人	—	評価なし	1,000人	取組の継続	十分な感染症対策を講じたうえで開催できるよう、実施団体と協議、調整を行う。	743	40	743	スポーツ振興課
93		イベント等	健康・スポーツ	020	日頃の成果の発揮と学び意欲の醸成	市民スポーツレクリエーション大会	スポーツ・レクリエーション活動における市民の日頃の練習の成果を発揮する場を提供し、市民の生涯学習活動を支援する。	どなたでも	35	1,282	委託	変更して実施	対面実施	10競技実施、5競技中止。感染症対策を行いながら、開催できるものを実施	等参加者数・利用者数・件数	3,000人	参加者数1,282人(目標値に対する参加割合42.73%)	B	3,000人	取組の継続	十分な感染症対策を講じたうえで開催できるよう、実施団体と協議、調整を行う。	503	337	503	スポーツ振興課
94		イベント等	健康・スポーツ	020	日頃の成果の発揮と学び意欲の醸成	全関東八王子夢街道駅伝競走大会	公道がコースとなる駅伝では日本最大級の大会として、八王子市の魅力を市内外へ発信し、スポーツの振興と地域の活性化を図る。	どなたでも	—	—	実行委員会	全面中止・延期	—	新型コロナウイルス感染症感染拡大防止のため中止	等参加者数・利用者数・件数	2,000人	—	評価なし	2,000人	取組の継続	十分な感染症対策を講じたうえで開催できるよう、実行委員会や関連団体と協議、調整を行う。	24,055	0	23,400	スポーツ振興課
95		講座・教室	教養的なもの	021	高校生・大学生等と地域がつながる、地域でいかす	大学生等が参画する生涯学習センター講座の実施	大学生等の知識や大学等の有する設備を活用した講座を地域の大学等と協働で実施し、市民の学習機会の一層の充実を図る。	子ども	2	17	市単独	通常通り実施	対面実施	東京工科大学との共催で「夏休みプログラミング講座」を実施。学生に助手を依頼し、子どもたちにプログラミングを体験する機会を提供した。	参加者の満足度	満足度85%以上	アンケートで「大変満足」「満足」と答えた割合100%	A	満足度85%以上	取組の継続	引き続き大学生等が参画する講座を実施し、市民の学習機会の一層の充実を図っていく。	—	—	—	学習支援課

【基本施策2】(番号50~107、58事業)

番号	新規	種類	分野	基本施策・施策の展開		事業名	事業内容	令和3年度 実績					令和3年度の目標および評価			令和4年度 目標設定			令和3年度 予算 (千円)	令和3年度 決算 (千円)	令和4年度 予算 (千円)	令和4年度 担当課 (実施主体)			
				NO	施策名			対象者	回数	参加者数 (人)等	実施形態	のコロナ影響	実施方法	令和3年度の実施状況 昨年度との比較・変更点 具体的に(120字以内)	指標評価	令和3年度 目標値	目標値に対する実績値	評価					令和4年度目標値	方向性	令和4年度の課題と方向 (120字程度)
96		イベント等	社会貢献活動	021	高校生・大学生等と地域がつながる、地域でいかす	ビッグウエスト学生フェスティバル	八王子市学園都市推進会議主催で学生フェスティバル委員会により開催し、学生同士や市民の人たちとの交流を図る。	どなたでも	1	学生249人 来場者35人	補助	変更して実施	対面実施	コロナの影響を踏まえ、関係機関等と協議した結果、一部のイベントを中止とし、開催したイベントも無観客で実施した(参加団体によりオンライン配信)。	普及・啓発等	参加者・来場者への周知をしっかりと行い、安全に配慮して開催する。	開催後に感染者の報告はなかった。	A	開催規模の拡大(前年度よりも参加団体数増)	取組の継続	コロナ禍の影響および、参加団体の解散等のため、従前の開催規模を望めない。次年度以降の拡大のステップとして開催する。	2,004	880	2,094	学園都市文化課((公財)学園都市文化ふれあい財団・大学コンソーシアム八王子)
97		イベント等	社会貢献活動	021	高校生・大学生等と地域がつながる、地域でいかす	★学生天国★	大学コンソーシアム八王子加盟25大学等の学生で構成する学生委員会により開催し、学生同士や市民の人たちとの交流を図る。	どなたでも	1	来場者数 1,000人 参加団体 7団体(ステージ:6・出店 1)	補助	変更して実施	対面実施	新型コロナウイルス感染症感染防止対策を講じて開催した。全体的に規模縮小となったが、今年度のテーマ「ハートフルを探しに」に因み、多くの市民から感じたエピソードを集めることができた。	普及・啓発等	参加者・来場者への周知をしっかりと行い、安全に配慮して開催する。	開催後に感染者の報告はなかった。横山町公園にパーティション設置し、近隣商店からも高評価を得た。	A	開催規模の拡大(前年度よりも参加団体数増)	取組の継続	コロナ禍の影響および、参加団体の解散等のため、従前の開催規模を望めない。次年度以降の拡大のステップとして開催する。	2,588	2,064	2,588	学園都市文化課((公財)学園都市文化ふれあい財団・大学コンソーシアム八王子)
98		その他	社会問題・市民生活に関するもの	021	高校生・大学生等と地域がつながる、地域でいかす	学生企画事業への支援	大学コンソーシアム八王子加盟25大学等の学生が、八王子地域を舞台にイベント等を企画・運営・実施する際に、支援する。	大学コンソーシアム八王子に加盟する大学等に在籍する5名以上の学生で構成する団体	1	6大学等8団体	補助	変更して実施	どちらも実施	申し込みのあったすべての団体の事業を採択・実施した。成果報告会は、ハイフレックス(zoom、YouTubeライブ配信)した。その結果、例年以上に事業成果および「学園都市八王子」の魅力を全国にPRできた。(ハイブリッド実施あり)	事業の再構築・充実・拡大等	事業採択数のうち6割を学生と地域社会の協働事業とする。	地域社会の協働事業は、75%であった。	A	事業採択数のうち7割以上を学生と地域社会との協働事業とする。	取組の継続	コロナ禍の影響により、学外活動に制限がかかる可能性があり、地域社会との連携が難しいケースも想定される。	1,632	911	1,741	学園都市文化課((公財)学園都市文化ふれあい財団・大学コンソーシアム八王子)
99		イベント等	教養的なもの	021	高校生・大学生等と地域がつながる、地域でいかす	学生発表会	大学コンソーシアム八王子加盟25大学等の学生が日頃の研究成果を市民・企業・市政などに向けて発表する。	大学コンソーシアム八王子に加盟する大学等の学生	1	発表件数 199件	補助	変更して実施	どちらも実施	発表件数は昨年比増となった。新たに英語での口頭発表をオンラインで実施した。感染症対策としては、参加者同士の接触防止や飛沫拡散防止等の対策を徹底するほか、発表者を除く連名発表者及び一般来場者(市民・学生)はオンラインを含め事前予約制とした。(ハイブリッド実施あり)	事業の再構築・充実・拡大等	周知活動を充実させ、参加大学等数を全加盟大学等の過半数以上とする。	全加盟大学等の過半数を超える15大学が参加した。	A	この数年参加していない大学等の参加を促し、参加大学等数を全加盟大学等の過半数以上とする。	取組の継続	発表件数のみならず、参加した学生の満足度の向上に寄与する取組みを継続的に実施する。	1,686	1,214	1,777	学園都市文化課((公財)学園都市文化ふれあい財団・大学コンソーシアム八王子)
100		イベント等	教養的なもの	021	高校生・大学生等と地域がつながる、地域でいかす	八王子学生CMコンテスト	学園都市八王子の特色を活かし、学生ならではの視点で八王子市の魅力を動画CMにした作品を募集し、コンテストを開催する。	学生(個人または団体)	1	23作品(11大学等)	補助	変更して実施	どちらも実施	上映会・表彰式は、ハイフレックス(YouTubeライブ)配信した。その結果、成果を全国にPRできた。受賞作品はテレビや街頭ビジョンで放映の機会を設け、八王子市の魅力発信に加え、学生の取り組みが広く発信された。(ハイブリッド実施あり)	件数参加者数・利用者数・利用	参加大学等数を全加盟大学等の1/5以上とする。	全加盟大学等の1/4を超える11大学が参加した。	A	上映会・表彰式の視聴者数が200名以上とする。	取組の継続	市民におけるCMコンテストの認知度が低いいため、周知を強化する。	1,571	1,608	2,189	学園都市文化課((公財)学園都市文化ふれあい財団・大学コンソーシアム八王子)

【基本施策2】(番号50~107、58事業)

番号	新規	種類	分野	基本施策・施策の展開		事業名	事業内容	令和3年度 実績					令和3年度の目標および評価				令和4年度 目標設定			令和3年度 予算 (千円)	令和3年度 決算 (千円)	令和4年度 予算 (千円)	令和4年度 担当課 (実施主体)		
				NO	施策名			対象者	回数	参加者数 (人)等	実施形態	の コ 影 口 響 ナ	実施方法	令和3年度の実施状況 昨年度との比較・変更点 具体的に(120字以内)	指標 評価	令和3年度 目標値	目標値に 対する 実績値	評価	令和4年度目 標値					方向性	令和4年度の 課題と方向 (120字程度)
101		イベント等	育児・教育	021	高校生・大学生等と地域がつながる、地域でいかす	成人式(令和4年度(2022年)からは「二十歳を祝う会」)	成人式の開催に当たって、大学生等を中心とした実行委員会を立ち上げて企画運営に参画するとともに、高校生がボランティアとして運営に参画することにより、式典を協力してつくりあげる社会経験の場とする。	成人	4	3,649人	共催	変更して実施	どちらも実施	開催回数を4回に分散・時間を短縮、さらにサテライト会場として南大沢文化会館でも式典の映像を投影し開催した。さらにYouTubeでも動画を配信・市内7カ所にフотスポットを設置するなど、新成人の参加の選択肢を増やした。(ハイブリッド実施あり)	参加者の満足度	感染症対策を行い、多世代・地域と協働して成人式を開催し、新成人に社会人としての自覚を促す。	感染症対策を講じながら、実行委員会とともに会場とオンラインで成人式を実施することができた。	A	感染症対策を行い、多世代・地域と協働して成人式を開催し、新成人に社会人としての自覚を促す。	取組の継続	成年年齢の引き下げにより、令和4年度から「二十歳を祝う会」に名称を変更し開催する。開催初年度として方向性を固めるとともに、新しい生活様式を踏まえた式典を開催する。	3,111	2,737	2,345	学習支援課(成人式実行委員会)
102		イベント等	趣味的なもの	021	高校生・大学生等と地域がつながる、地域でいかす	八王子市内高等学校吹奏楽フェスティバル	市内高等学校吹奏楽フェスティバルを高校生による運営とする。青少年の音楽活動の成果発表の場を確保するとともに、イベント開催に参画する機会を提供する。	高校生	1	市内高校参加:13校	共催	変更して実施	対面実施	令和3年度は予算措置が0になり、株式会社ジェイコムとの協力により開催。会場は関係者のみの来場制限を設けていたが、特別番組の放映を行うことで、より多くの市民の関心を集めることができた。	数・参加者数・利用者数・数利用者	500名	500名(関係者のみ)	A	500名	取組の継続	共催団体・協力団体と連携をとりながら、コロナ禍のより良い実施方法の検討を行い、青少年の音楽活動の成果発表の場を提供していく。	0	0	458	学習支援課
103		イベント等	育児・教育	021	高校生・大学生等と地域がつながる、地域でいかす	児童館・子どもシテイ	子どもたちが、社会性や協調性を育む機会に、学生と地域が参加し、交流活動を行う。	子ども	—	—	市単	全面中止・延期	—	各地区で実施する準備をしていたが、関係機関との調整の結果や緊急事態宣言の発出などにより、実施できなかった。	実・業・業の大再構築・充	1回開催	0	評価なし	1回開催	取組の継続	感染症対策として密の回避、人流の抑制が求められている中で、児童館でどのような行事がどれだけできるか見通しが立たない。そのような中にあるのは、小規模に1回でも実施できればよいと考える。	432	0	706	青少年若者課
104		講座・教室	教養的なもの	022	若者の社会的自立に向けた、学びによる支援	支援を必要とする若者の学び直しの場の提供	ひきこもりや働くことへの不安などを抱える若者に対する、学びの継続や学び直しに向けた活動の場として、主に対人関係に慣れるためのプログラム活動を提供する。	15歳~39歳の若者	112件	598人	委託	変更して実施	対面実施	バルマークの仕分けボランティア、室内ストレッチ、遊びを通じた対人訓練メニュー等	数・プログラム活動回	90回	112回	A	プログラム活動90回実施	取組の継続	運営事業者の強みを活かし、対人面で改善が期待できる多様なプログラムを継続して実施していく。	28,388	28,388	28,450	青少年若者課
105		その他	社会貢献活動	022	若者の社会的自立に向けた、学びによる支援	若者が参加できるボランティア活動の充実	地域貢献につながる活動メニューを企画・立案し、若者が参加できるボランティア活動を提供する。また、地域のボランティア活動の情報を広く提供する。	15歳~39歳の若者	2	8人	委託	変更して実施	対面実施	・高尾山薬王院清掃ボランティア ・大塚西公園池清掃イベント	普及・啓発	地域活動メニューの企画・立案を進める	感染防止に留意しながら、企画立案したイベント実施及び地域イベントへ参加できた。	A	地域での活動5回	取組の継続	感染予防措置を講じる。地域の受け入れ先との調整、当日の移動手段の確保など、手続きが煩雑となるが、可能な範囲で実施していく。	28,388	28,388	28,450	青少年若者課
106		イベント等	趣味的なもの	022	若者の社会的自立に向けた、学びによる支援	クリエイティブステージ	日ごろの音楽活動の成果発表の場として、40歳以下の団体・個人を対象にステージを提供するとともに、出演者・来場者間の交流を図る。	どなたでも	—	出演者115名 観覧者222名	市単	変更して実施	どちらも実施	感染対策のため、演目の間に換気の時間を設けるとともに、観客についても完全入れ替え制にして開催した。また、抽選に外れたうち1団体については、後日オンラインでの動画配信にて参加した。	数・参加者数・利用者数・数利用者	10団体程度の参加	11団体の参加(うち1団体はオンラインでの動画配信)	A	10~15団体の参加	取組の継続	来場者の密集・密接を防ぐ対策を検討し、より多くの団体・個人に音楽活動の成果発表の場を提供していく。	0	0	0	学習支援課

【基本施策2】(番号50~107、58事業)

番号	新規	種類	分野	基本施策・施策の展開		事業名	事業内容	令和3年度 実績					令和3年度の目標および評価				令和4年度 目標設定			令和3年度 予算 (千円)	令和3年度 決算 (千円)	令和4年度 予算 (千円)	令和4年度 担当課 (実施主体)		
				NO	施策名			対象者	回数	参加者数 (人)等	実施形態	の コ 影 響	実施方法	令和3年度の実施状況 昨年度との比較・変更点 具体的に(120字以内)	指 評 標 価	令和3年度 目標値	目標値に 対する 実績値	評 価	令和4年度目 標値					方向性	令和4年度の 課題と方向 (120字程度)
107		講座・教室	教養的なもの	022	若者の社会的自立に向けた、学びによる支援	若者の視野が広がる教育・普及啓発	若者にとって生きるヒントが得られるような学びの機会を充実する。	成人	8	199	市単独	通常通り実施	どちらも実施	「未来のために学ぶSDGs」他7講座を実施し、生きるヒントが得られるような学びの機会を提供した。8講座199名参加。	実 事 ・ 業 拡 大 再 構 築 ・ 充	10講座	8講座	B	10講座	取組の継続	より多くの若者が参加し、生きるヒントが得られるような内容の講座を実施していく。	—	—	—	学習支援課

【基本施策3】(番号108~129、22事業)

番号	新規	種類	分野	基本施策・施策の展開		事業名	事業内容	令和3年度 実績					令和3年度の目標および評価				令和4年度 目標設定			令和3年度 予算 (千円)	令和3年度 決算 (千円)	令和4年度 予算 (千円)	令和4年度 担当課 (実施主体)		
				NO	施策名			対象者	回数	参加者数 (人)等	実施形態	影響の	実施方法	令和3年度の実施状況 昨年度との比較・変更点 具体的に(120字以内)	指標 評価	令和3年度 目標値	目標値に 対する 実績値	評価	令和4年度目 標値					方向性	令和4年度の 課題と方向 (120字程度)
108		講座・教室	趣味的なもの	023	学びへの新たな参加を促す取組	生涯学習しえんねっと講座	学習支援委員が合同講座「しえんねっと講座」を開催することにより、市民に生涯学習活動のきっかけづくりの場を提供し、新たな参加を促す。	どなたでも	—	—	共催	全面中止・延期	—	令和3年度は新型コロナウイルス感染症の影響等を考慮し未実施。	参加者の満足度	合同講座の参加者満足度80%以上	合同講座未開催のため数値なし。	評価なし	合同講座の参加者満足度80%以上	取組の継続	共催団体と連携を取り、「新しい生活様式」に対応した環境作りを実施し、生涯学習活動のきっかけづくりの場を提供していく。	—	—	—	学習支援課
109		情報提供・環境整備	教養的なもの	024	生涯学習の相談体制の充実	生涯学習相談	生涯学習情報を提供するほか、サークル結成・運営などの学習要望に対して助言する。	どなたでも	随時	—	市単独	通常通り実施	—	窓口及び電話にて生涯学習情報を提供した。	その他	相談体制の構築	開館日の窓口において随時実施	A	相談体制の構築	取組の継続	開館日において引き続き生涯学習相談を実施していく。	0	0	0	学習支援課
110		情報提供・環境整備	教養的なもの	024	生涯学習の相談体制の充実	学習支援委員による相談	青少年活動の応援、国際交流や伝統文化の普及、家庭教育、サークル・団体活動のサポート等、学習支援委員がそれぞれの得意分野を活かして、生涯学習活動に関する相談を受け、助言や情報提供を行う。	どなたでも	随時	—	市単独	通常通り実施	どちらも実施	新型コロナウイルス感染症の影響を受け支援委員の対面での活動は減少したが、オンラインツールを用いた会議・講座の開催等新たな方法で学習支援を行った。	拡大事業等の再構築・充実	学習相談の機会を増やす	学習相談の機会が増やす	B	学習相談の機会を増やす	取組の継続	学習支援委員と連携をとりながら、市民に生涯学習の情報提供の仕組み作りを引き続き行う。	—	—	—	学習支援課
111		情報提供・環境整備	教養的なもの	025	生涯学習機会の情報の発信	SNSによる生涯学習講座・イベント情報の発信	講座・イベント・フリースペースの情報の発信について、FacebookとTwitterを通じて発信する。	どなたでも	随時	—	市単独	通常通り実施	—	講座やフリースペースの開催状況に加えて、開館状況についても随時情報発信した。	その他	発信体制の構築	facebook 145回/年 twitter 670回/年	A	発信体制の構築	取組の継続	講座やフリースペースの開催状況及び開館状況について随時情報を発信する。	0	0	0	学習支援課
112		情報提供・環境整備	育児・教育	025	生涯学習機会の情報の発信	イベントカレンダーによる情報発信	夏休み期間中に実施する小学生向けの事業を集約した小冊子「夏休みイベントカレンダー」など、学習情報を一元化して市民に分かりやすく情報提供する。	子ども	1	発行部数: 21,496	市単独	通常通り実施	—	市内児童に分かりやすい情報の提供ができた。	普及・啓発等	分かりやすい情報の提供	紙面にピクトグラムを使用し、分かりやすい情報を提供できた。	A	分かりやすい情報の提供	取組の継続	市内児童に分かりやすい情報の提供ができた。	—	—	—	学習支援課
113		情報提供・環境整備	社会問題に関するもの	025	生涯学習機会の情報の発信	広報「はちおうじの教育」の発行	市の教育行政情報や学校、教育施設の情報を提供し、市民に教育施策を周知する。	どなたでも	—	—	市単独	—	—	教育関連情報の効果的な発信方法を検討するため、令和3年度については広報「はちおうじの教育」の発行は行わなかった。	大築事業等・業充の実再構築	今年度は発行の予定なし	なし	評価なし	廃止・休止	広報「はちおうじの教育」の発行に替わり、「広報はちおうじ」の特集記事として教育関連情報を年2回程度発信する。	0	0	0	教育総務課	
114		情報提供・環境整備	社会貢献活動	025	生涯学習機会の情報の発信	はちコミねっと	市民活動に関する情報発信を行う。	どなたでも	通年	14,650	指定管理者	通常通り実施	オンライン実施	当センターに来所する市民に対し、はちコミねっとの利用促進を徹底的に行ったため、登録団体が増え、さらにこのWebサイトにアクセスする市民が増えた。数字としては団体令和2年度のユーザ数は7,982だったことに對し、令和3年度は14,650となり、ほぼ倍増した。	件数参加者数・利用者数・利用	登録団体数470団体	登録団体数475団体	A	登録団体数250団体	改善・見直しの実施	昨今のレスポンスなWebサイトデザイン等の利便性の向上のために全面的にリニューアルするが、これにともない登録団体の見直しを行い、実質的に活用している団体に使っていた環境作りをするとともに、活動を停止している団体等の整理を行う。	1,496	1,496	1,496	協働推進課 (市民活動支援センター)

【基本施策3】(番号108~129、22事業)

番号	新規	種類	分野	基本施策・施策の展開		事業名	事業内容	令和3年度 実績					令和3年度の目標および評価				令和4年度 目標設定			令和3年度 予算 (千円)	令和3年度 決算 (千円)	令和4年度 予算 (千円)	令和4年度 担当課 (実施主体)		
				NO	施策名			対象者	回数	参加者数 (人)等	実施形態	コロナの影響	実施方法	令和3年度の実施状況 昨年度との比較・変更点 具体的に(120字以内)	指標 評価	令和3年度 目標値	目標値に 対する 実績値	評価	令和4年度目 標値					方向性	令和4年度の 課題と方向 (120字程度)
115		情報提供・環境整備	教養的なもの	025	生涯学習機会の発信	市民センターだよりの発行	地域住民協議会が発行する情報誌を活用し、身近な地域情報を発信する。	どなたでも	25	171,480	補助	変更して実施	—	新型コロナウイルス感染症拡大防止対策のため様々な事業が中止となり、センターだよりにて発信する情報が少なかつたため、紙面の縮小や発行回数を減らして実施	拡事業大等の再構築・充実・	紙面の充実	コロナ禍のため事業が実施できないなか、各住民協議会が工夫して紙面を作成し情報発信を行った。	A	紙面の充実	取組の継続	引き続き、地域住民協議会による情報集など紙面の充実に努め、身近な地域情報の発信を行う。	1,405	1,127	1,405	協働推進課
116		情報提供・環境整備	家庭生活	025	生涯学習機会の発信	消費生活情報の提供	消費生活ニュース、くらしのレポート、広報消費生活特集号等を発行し、消費生活に関する情報提供を行う。	どなたでも	消費生活ニュース12回、くらしのレポート3回、広報特集号1回	消費生活ニュース8,600部、くらしのレポート1,400部、広報特集号284,000部	市単独	通常通り実施	—	消費生活ニュース(毎月発行)くらしのレポート(4.7.12月発行)広報特集号(9月15日号)を作成し配布した。	普及・啓発等	タイムリーな情報を関係団体と共同で情報提供する。	消費生活ニュース約8,000部くらしのレポート約1,000部広報特集号約28万部	A	タイムリーな情報を関係団体と共同で情報提供する。	取組の継続	【課題】消費生活について情報提供をすることで、市民が安心・安全な消費生活を行えるようになる。 【方向】注意喚起情報の発信と消費者の自立を目指した情報提供を行う。配布場所を民間機関を追加しより多くの人に配布する。	0	0	0	消費生活センター
117		情報提供・環境整備	社会問題・市民生活に関するもの	025	生涯学習機会の発信	外国人向け情報誌「Ginkgo」の発行	外国人のニーズに合わせた行政情報の提供の充実を目指し、年6回、多言語で、外国人向け情報誌を発行する。	外国人	6	延12,672部	市単独	通常通り実施	—	例年の記事に加え、新型コロナウイルス感染症の感染防止に関する啓発や支援情報などを掲載した。市核施設・国際協会・日本語学級・大学などで配布	実事業の大再構築・充	掲載記事の充実	発行部数12,672部	A	掲載内容の充実を図るため、記事の収集に努める。	取組の継続	より多くの外国人市民に情報を届けるために、掲載内容の充実と情報誌の周知を図っていく。	327	208	491	多文化共生推進課
118		情報提供・環境整備	社会問題・市民生活に関するもの	025	生涯学習機会の発信	男女共同参画情報紙「ばれっと」の発行	男女共同参画に関する認識や理解を深めるための情報を提供する。	どなたでも	1	285,940部発行	市単独	通常通り実施	—	2020年東京オリンピック・パラリンピックを踏まえて、スポーツにおけるジェンダーのあり方や性別にとらわれない「私らしさ」について著名人のインタビュー記事を掲載した。	普及・啓発等	アンケート等で意見収集し、子育て世代にも関心を持ってもらえる紙面づくりを行い、市民に対して男女共同参画について啓発する。	オリンピックに関連して話題性のある記事を掲載することで、幅広い世代に情報提供ができた。	A	幅広い世代に関心を持ってもらえる紙面づくりを行う。	改善・見直しの実施	令和4年度は「ばれっと」において条例制定の周知を行うため、条例周知に付随して市民等における男女共同参画に関する認識や理解を深めるきっかけとなるような紙面づくりを行う。	1,073	1,058	1,019	男女共同参画課
119		情報提供・環境整備	教養的なもの	026	生涯学習環境の充実と活動の場の提供	生涯学習センター	地域住民にとって身近な学習拠点であるほか、交流の場、コミュニティ形成の場として、学習ニーズや地域の実情に応じた学習機会を提供する。	どなたでも	—	122,062	市単独	変更して実施	—	年度当初は緊急事態宣言等により休館していたが、宣言解除後は部屋の消毒や手洗いの励行等感染対策を講じた上で、講座やフリースペース等の事業を再開した。	数参加者利用者数件・数利用者	利用者数120,000人以上	122,062人	A	利用者数135,000人以上	取組の継続	適切な感染対策を講じた上で、市民に学習機会を提供していく。	—	—	—	学習支援課

【基本施策3】(番号108~129、22事業)

番号	新規	種類	分野	基本施策・施策の展開		事業名	事業内容	令和3年度 実績					令和3年度の目標および評価				令和4年度 目標設定			令和3年度 予算 (千円)	令和4年度 予算 (千円)	令和4年度 担当課 (実施主体)			
				NO	施策名			対象者	回数	参加者数 (人)等	実施形態	影響の	実施方法	令和3年度の実施状況 昨年度との比較・変更点 具体的に(120字以内)	指標 評価	令和3年度 目標値	目標値に 対する 実績値	評価	令和4年度目 標値				方向性	令和4年度の 課題と方向 (120字程度)	
120		情報提供・環境整備	教養的なもの	026	生涯学習環境の充実と活動の場の提供	学習室の貸し出し	団体・個人に学習室等を貸し出し、市民の自発的な生涯学習活動を支援する。	どなたでも	21,747	—	市単独	変更して実施	—	年度当初は緊急事態宣言等により休館していたが、宣言解除後は部屋の消毒や手洗いの励行等感染対策を講じた上で、学習室等の貸出を再開した。	数参加者利用者数・数利用者	利用件数20,000件以上	21,747件	A	利用件数22,000件以上	取組の継続	適切な感染対策を講じた上で学習室等を貸し出し、市民の生涯学習活動を支援していく。	—	—	—	学習支援課
121		情報提供・環境整備	教養的なもの	026	生涯学習環境の充実と活動の場の提供	フリースペース	空き学習室を自習スペースとして開放し、学生の自主的な学習を支援するとともに、若い世代の施設利用を促進する。	学生	3館合計953日	21,309	市単独	変更して実施	—	休館等で実施できない時期があったものの、3館合計で953日実施し、延べ21,309名の利用があった。	等者参加者利用者数・件数	土・日・祝、平日夜間、学校長期休業期間に実施	3館合計で953日実施	A	土・日・祝、平日夜間、学校長期休業期間に実施	取組の継続	適切な感染対策を講じた上でフリースペースを実施し、学生の自主的な学習を支援していく。	0	0	0	学習支援課
122		その他	教養的なもの	026	生涯学習環境の充実と活動の場の提供	図書館	「地域の情報拠点」として、子どもから高齢者まで多様な利用者の学習活動を支援、新たなニーズに対応する。	どなたでも	【開放日数】277日	【自習室(中央館)の利用者数】9,366人	市単独	変更して実施	対面実施	令和2年度に比べ、開放日が増加したため、利用者も増加した。	等者参加者利用者数・件数	4,846人	9,366人	A	9,366人	取組の継続	引き続き、新型コロナウイルスの感染拡大防止に留意しつつ開催する必要がある。	—	—	—	図書館課
123		その他	教養的なもの	026	生涯学習環境の充実と活動の場の提供	地区図書室の図書館化	身近な読書環境の整備のため、地区図書室を図書館として整備する。	どなたでも	—	—	市単独	—	—	市全体における図書館施設適正化方針の中で整理していく。	その他	—	—	評価なし	—	取組の継続	市全体における図書館施設適正化方針の中で整理する必要がある。	—	—	—	図書館課
124		情報提供・環境整備	教養的なもの	026	生涯学習環境の充実と活動の場の提供	八王子駅南口集いの拠点整備	八王子医療刑務所跡地に整備する公園、歴史・郷土ミュージアム(新郷土資料館)とともに、学習・交流機能を持つ交流スペースや図書館機能を持つ憩いライブラリを整備する。	どなたでも	施設整備に向けて準備中のため、未回答	施設整備に向けて準備中のため、未回答	市単独	—	—	施設整備に向けて準備中のため、未回答	その他	施設整備に向けて準備中のため、未回答	施設整備に向けて準備中のため、未回答	評価なし	PFI事業者公募準備中	取組の継続	PFI事業者公募準備中	—	—	—	集いの拠点整備課
125		その他	社会問題・市民生活に関するもの	026	生涯学習環境の充実と活動の場の提供	若者の活動拠点づくり	既存施設にあり方の見直しにより高校生や大学生などをはじめとする若者の活動の場としての機能を持たせるなど、生き生きと活躍できる若者の拠点づくりを進める。	15歳~39歳の若者	通年(247日)	のべ1,817人	委託	通常通り実施	対面実施	・若者総合相談センターにおいて、利用者が次の一歩を踏み出す準備段階としてのフリースペースを提供した。 ・ユースセンター機能を含めた児童館のあり方を検討している。	その他	ユースセンター機能の構想化に向けた検討	若者総合相談センターにサードプレイスを設置することができた。	B	既存施設のあり方の見直しを図り、若者の活動の場の提供を検討する。	取組の継続	若者総合相談センターが企画する地域でのプログラム活動を充実させる。また、既存施設のこれまでの経緯を踏まえたあるべき姿の検討を行っていく。	28,388	28,388	28,450	青少年若者課
126		その他	社会問題・市民生活に関するもの	027	誰もが生涯学習へ参加しやすい環境づくり	施設内のサイン計画改善	言語や障害に左右されず、施設内を不自由なく使用できるように表示を改善する。	どなたでも	—	—	市単独	通常通り実施	—	障害のある人もない人も共に安心して暮らせる八王子づくり条例の周知啓発をチラシ等で行った。	その他	—	庁内関連施設328か所へ1部ずつ配布	B	庁内関連施設だけでなく、八王子にある民間企業へも周知啓発を進める	取組の継続	障害のある人もない人も共に安心して暮らせる八王子づくり条例の周知啓発をチラシ等で続けていく。	—	—	—	障害者福祉課
127		情報提供・環境整備	育児・教育	027	誰もが生涯学習へ参加しやすい環境づくり	学習支援のための託児	子育て中の市民等の学習支援として、満1歳~未就学児の託児サービスを提供し、特に女性の社会参画の促進を図る。	どなたでも	156	利用保護者230人	市単独	通常通り実施	対面実施	ほっとタイムサービスの利用者へのアンケートを実施し、利用者のニーズ把握を行った。	等者参加者利用者数・件数	利用保護者136人	利用保護者230人	A	利用保護者230人	取組の継続	市民等のニーズを踏まえ、より学習機会が確保できるようなサービスを提供するため手法を検討し反映していく。	7,731	6,772	7,043	男女共同参画課

